

令和5年度  
デジタル化の進展度と生活の満足度に関する市民アンケート調査

鶴岡市企画部デジタル化戦略推進室

## 調査の実施概要と回答者の属性

# 鶴岡市内在住の15歳以上の男女にデジタル化に関するアンケート調査を実施しました。

### 実施概要

項目	質問項目
実施期間	2023年7月24日～8月15日
対象者	市内在住の15歳以上の男女
配布数	3,000サンプル（紙面郵送配布、紙面郵送回収・Web回答）
回収数	846サンプル（回答率28.2%、紙面・Web回収）

### 回答者の性別・年代

(N=817 無回答を除く)

区分		合計	15歳以上20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上
総数		100.0%	4.2%	3.5%	9.9%	13.7%	18.7%	27.2%	22.8%
性別	男性	46.0%	2.2%	1.6%	4.0%	6.6%	7.8%	13.0%	10.8%
	女性	54.0%	2.0%	2.0%	5.9%	7.1%	10.9%	14.2%	12.0%

### 回答者の性別・居住地域

(N=818 無回答を除く)

区分		合計	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
総数		100.0%	73.2%	5.6%	5.0%	4.9%	2.9%	4.6%
性別	男性	46.0%	33.3%	3.2%	2.1%	2.4%	1.8%	1.6%
	女性	54.0%	40.0%	2.4%	2.9%	2.4%	1.1%	3.1%

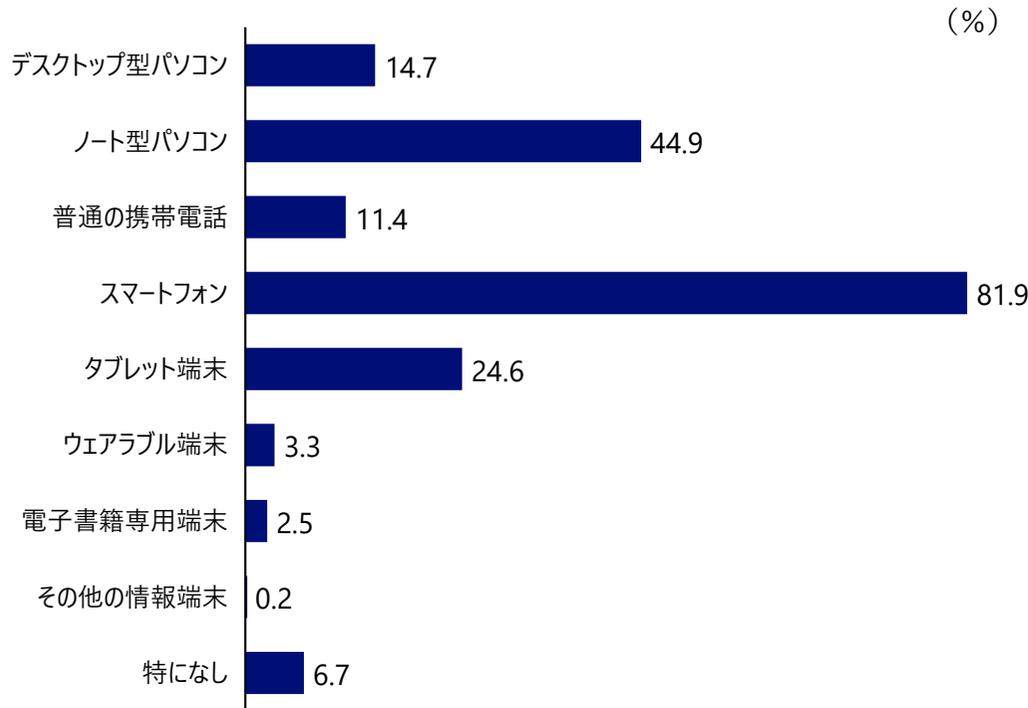
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

スマートフォンを使用する人が多く、回答者全体の約82%、70歳以上の約56%を占めています。

使用している情報端末について

(N=841)



区分		デスクトップ型パソコン	ノート型パソコン	(フィーチャーフォン) 普通の携帯電話	(iPhoneなど) スマートフォン	(iPadなど) タブレット端末	(Apple Watchなど) ウェアラブル端末	(Kindleなど) 電子書籍専用端末	その他の情報端末	特になし
総数		14.7	44.9	11.4	81.9	24.6	3.3	2.5	0.2	6.7
性別	男性	20.3	54.5	11.2	80.5	29.9	3.5	3.5	0.3	7.5
	女性	10.3	37.8	10.9	84.5	20.3	3.0	1.6	0.2	5.5
年代別	15歳以上20歳未満	8.8	52.9	0.0	94.1	35.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	13.8	58.6	0.0	96.6	20.7	10.3	6.9	0.0	0.0
	30歳以上40歳未満	15.9	64.6	3.7	98.8	46.3	8.5	4.9	0.0	1.2
	40歳以上50歳未満	23.2	61.6	4.5	95.5	38.4	4.5	2.7	0.0	1.8
	50歳以上60歳未満	18.4	55.3	9.2	88.8	30.3	5.9	2.0	1.3	2.6
	60歳以上70歳未満	14.8	42.2	11.2	83.4	17.9	0.9	2.2	0.0	4.5
	70歳以上	7.7	19.7	24.0	56.3	8.7	0.0	1.6	0.0	19.7

【アンケート設問】

Q1 以下の各々の情報端末について、あなたが自分で自由に使えるものとして「持っているもの」に✓をつけてください。(✓はいくつでも)

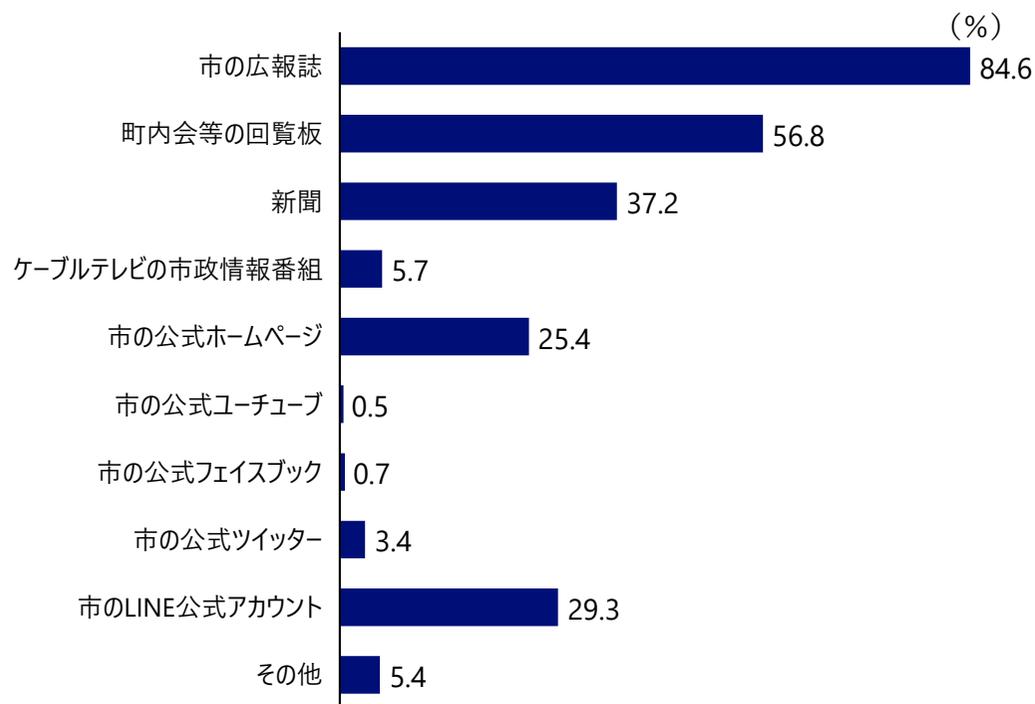
複数回答可能としているため、数値 (%) の合計は、100%を超える場合がある。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

鶴岡市が提供する情報の入手手段は、「市の広報誌」（約85%）が最も多く、LINE公式アカウントから情報入手した人は約29%（昨年度約26%）となっています。

鶴岡市が提供する情報の入手手段

(N=845)



区分		市の広報誌	町内会等の回覧板	新聞	ケーブルテレビの市政情報番組	市の公式ホームページ	市の公式ユーチューブ	市の公式フェイスブック	市の公式ツイッター	市のLINE公式アカウント	その他
総数		84.6	56.8	37.2	5.7	25.4	0.5	0.7	3.4	29.3	5.4
性別	男性	81.1	52.8	38.4	5.1	27.7	0.5	1.1	2.7	26.1	6.7
	女性	88.2	59.7	36.2	5.7	24.0	0.5	0.5	3.4	32.4	4.1
年代別	15歳以上20歳未満	29.4	35.3	35.3	17.6	26.5	0.0	2.9	20.6	5.9	20.6
	20歳以上30歳未満	44.8	17.2	10.3	10.3	20.7	0.0	0.0	6.9	37.9	17.2
	30歳以上40歳未満	78.0	35.4	17.1	4.9	40.2	0.0	1.2	3.7	39.0	8.5
	40歳以上50歳未満	90.2	49.1	21.4	3.6	32.1	0.0	2.7	8.9	42.9	1.8
	50歳以上60歳未満	84.9	53.9	34.2	1.3	32.2	1.3	0.7	1.3	38.8	3.3
	60歳以上70歳未満	93.3	68.6	45.3	4.5	26.9	0.9	0.0	0.0	31.4	2.7
	70歳以上	91.4	69.0	52.9	8.0	9.6	0.0	0.0	0.5	10.7	5.9

### 【アンケート設問】

Q2 あなたは、鶴岡市が提供する情報を、主にどのような手段で入手していますか。（✓はいくつでも）

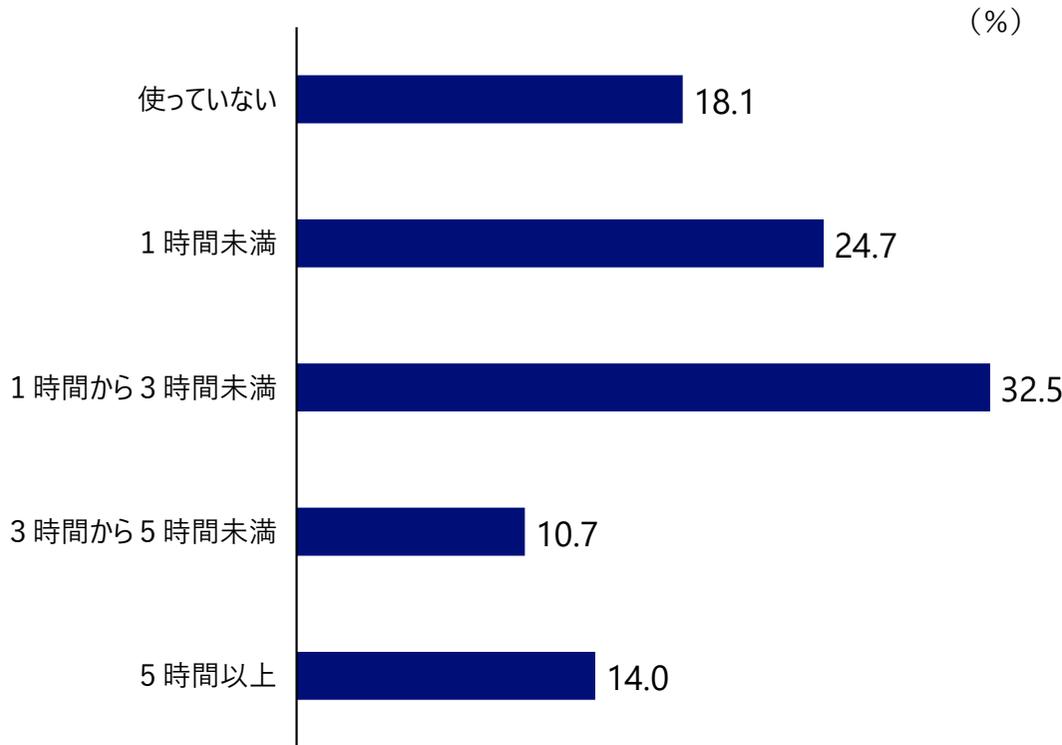
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

インターネット利用頻度は、高齢になるほど低下し、70歳以上の半数以上は利用していません。

インターネットの利用状況

(N=834)



区分		使っていない	1時間未満	1時間から3時間未満	3時間から5時間未満	5時間以上
総数		18.1	24.7	32.5	10.7	14.0
性別	男性	19.0	22.2	33.1	10.8	14.9
	女性	16.4	26.9	32.1	10.7	13.9
年代別	15歳以上20歳未満	0.0	5.9	23.5	29.4	41.2
	20歳以上30歳未満	0.0	10.3	17.2	27.6	44.8
	30歳以上40歳未満	1.2	2.4	36.6	19.5	40.2
	40歳以上50歳未満	0.9	9.1	50.0	20.0	20.0
	50歳以上60歳未満	6.5	22.9	45.1	12.4	13.1
	60歳以上70歳未満	14.5	43.9	32.1	4.1	5.4
	70歳以上	55.2	28.2	13.8	1.7	1.1

【アンケート設問】

Q3 日頃の生活や学習、仕事などで、インターネットサービス（携帯等のアプリの使用を含む）をどの程度使っていますか。1日当たりのおよその利用時間をお答えください。（パソコン、タブレット、携帯電話、携帯ゲーム機等を含む）（✓はひとつ）

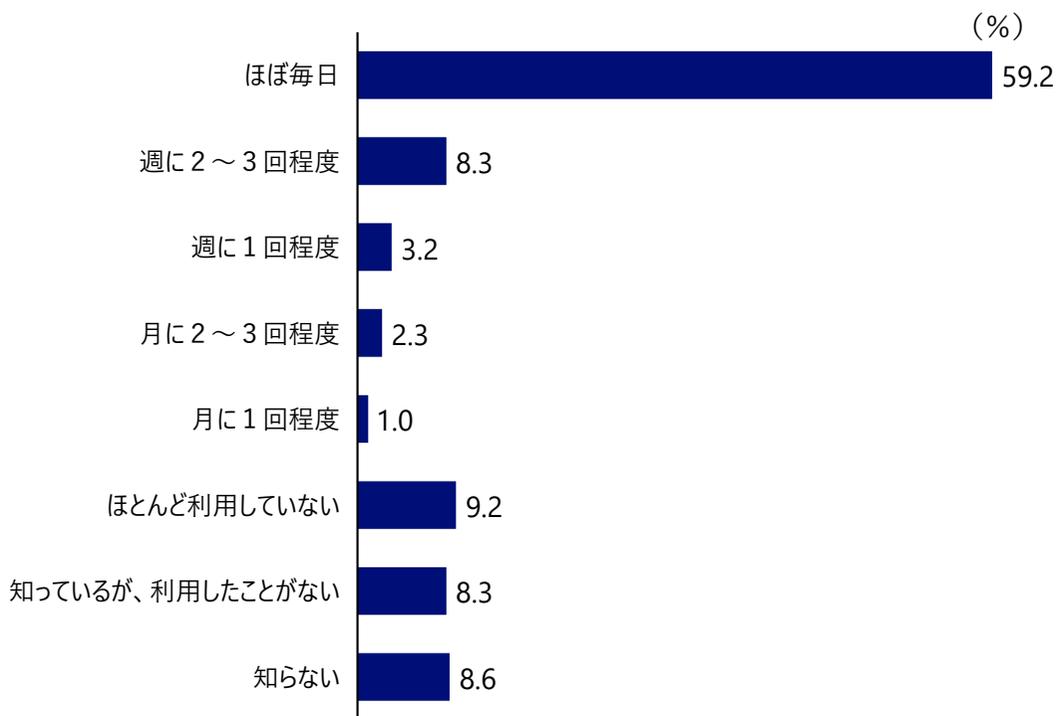
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

SNSをほぼ毎日利用する人は、全体の約6割で若い世代ほど利用頻度が高くなっています。一方で、70歳以上から利用頻度が急激に低下しています。

SNSの利用状況

(N=836)



区分		ほぼ毎日	週に2~3回程度	週に1回程度	月に2~3回程度	月に1回程度	ほとんど利用していない	知っているが、利用したことがない	知らない
総数		59.2	8.3	3.2	2.3	1.0	9.2	8.3	8.6
性別	男性	53.2	8.9	3.8	2.7	0.8	12.1	11.0	7.5
	女性	65.1	8.0	2.7	2.1	1.1	6.4	5.5	9.1
年代別	15歳以上20歳未満	82.4	8.8	0.0	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0
	20歳以上30歳未満	93.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
	30歳以上40歳未満	92.7	1.2	0.0	2.4	1.2	1.2	1.2	0.0
	40歳以上50歳未満	76.4	10.9	1.8	0.0	0.0	7.3	2.7	0.9
	50歳以上60歳未満	73.9	7.8	2.6	1.3	0.0	5.9	5.9	2.6
	60歳以上70歳未満	49.5	11.7	5.4	4.5	2.7	12.2	9.0	5.0
	70歳以上	24.7	7.1	4.4	2.7	0.5	14.3	17.0	29.1

### 【アンケート設問】

Q4 Facebook（フェイスブック）やLINE（ライン）などのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）をどの程度使用していますか。（✓はひとつ）

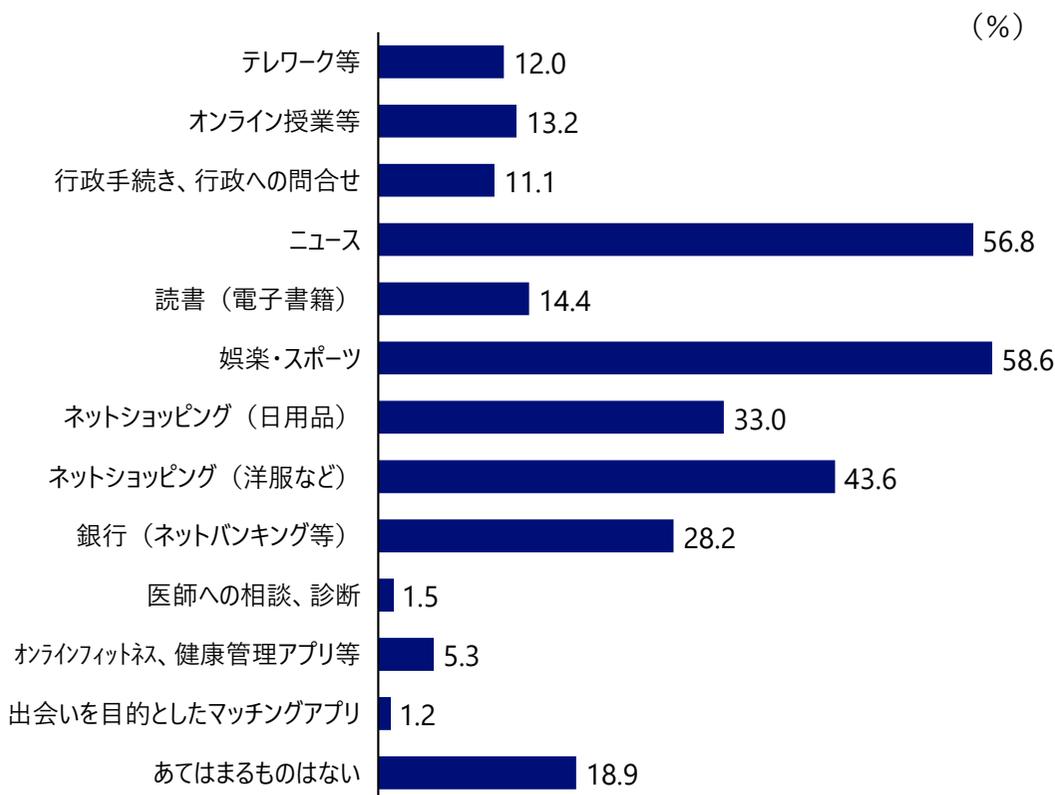
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

5割以上が、インターネットニュースや娯楽・スポーツ配信サービスを利用しています。  
20～50代では、ネットショッピング、娯楽・スポーツサービスの利用率が非常に高くなっています。

インターネットサービスの利用状況

(N=805)



区分	テレワーク、テレビ会議	オンライン授業・講座・研修	行政手続き、行政への問合せ	ニュース	読書（電子書籍）	娯楽・スポーツ（音楽、映画、ゲーム、動画の視聴）	インターネットショッピング（水・食料品など日用品）	インターネットショッピング（洋服など買い回り品）	銀行（口座の残高照会やネットバンキング）	医師への相談、診断	オンラインフィットネス、健康管理等のアプリ	出会いを目的としたマッチングアプリ	あてはまるものはない	
	総数	12.0	13.2	11.1	56.8	14.4	58.6	33.0	43.6	28.2	1.5	5.3	1.2	18.9
性別	男性	16.4	11.5	13.1	60.4	15.0	62.0	32.5	42.3	31.4	1.1	3.0	0.8	16.9
	女性	8.1	14.8	9.6	53.3	13.9	55.7	34.0	45.5	25.1	1.9	7.4	1.7	20.3
年代別	15歳以上20歳未満	2.9	29.4	11.8	55.9	41.2	91.2	23.5	38.2	8.8	2.9	0.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	13.8	31.0	17.2	62.1	37.9	93.1	55.2	72.4	48.3	3.4	17.2	10.3	0.0
	30歳以上40歳未満	25.6	22.0	31.7	76.8	31.7	85.4	65.9	74.4	54.9	2.4	6.1	2.4	2.4
	40歳以上50歳未満	25.0	28.6	18.8	66.1	29.5	81.3	49.1	65.2	50.9	3.6	11.6	1.8	3.6
	50歳以上60歳未満	19.3	15.3	7.3	59.3	10.7	64.7	39.3	62.7	34.7	0.7	8.0	0.7	8.0
	60歳以上70歳未満	4.1	5.0	6.8	58.4	5.5	48.9	24.2	32.0	16.9	1.4	2.7	0.9	18.7
	70歳以上	1.9	1.3	4.4	33.8	0.6	23.1	10.6	8.8	8.8	0.0	0.6	0.0	55.6

【アンケート設問】

Q5 以下のインターネットサービスを利用していますか。 利用しているサービスの口に✓をつけてください。（✓はいくつでも）

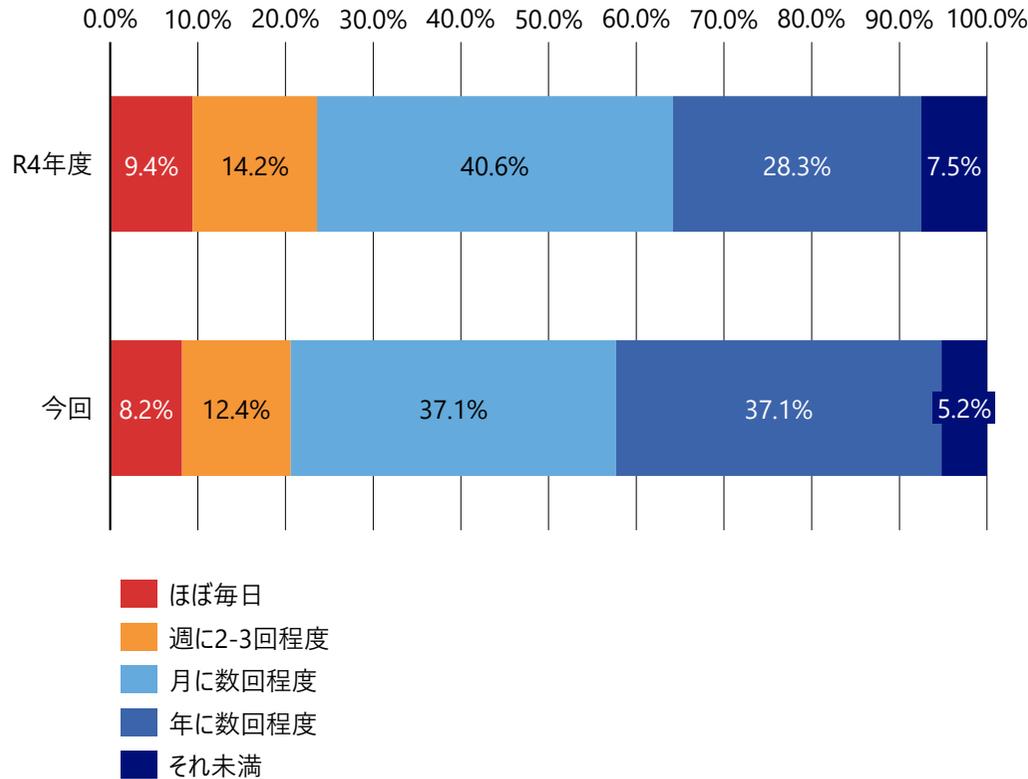
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

テレワーク実施頻度は、コロナ禍が継続していた昨年度よりも若干減少して、コロナ禍以前への回帰傾向が見られます。

テレワークの実施頻度

(N=97)



区分		ほぼ毎日	週に2-3回程度	月に数回程度	年に数回程度	それ未満
総数		8.2	12.4	37.1	37.1	5.2
性別	男性	3.3	20.0	33.3	40.0	3.3
	女性	14.7	0.0	44.1	32.4	8.8
年代別	15歳以上20歳未満	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	30歳以上40歳未満	4.8	9.5	38.1	47.6	0.0
	40歳以上50歳未満	17.9	10.7	32.1	32.1	7.1
	50歳以上60歳未満	0.0	13.8	44.8	37.9	3.4
	60歳以上70歳未満	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2
	70歳以上	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0

【アンケート設問】

Q5-1 Q5で「1. テレワーク、テレビ会議」を選択した人にうかがいます。どの程度の頻度で、テレワーク、テレビ会議を実施していますか。（✓はひとつ）

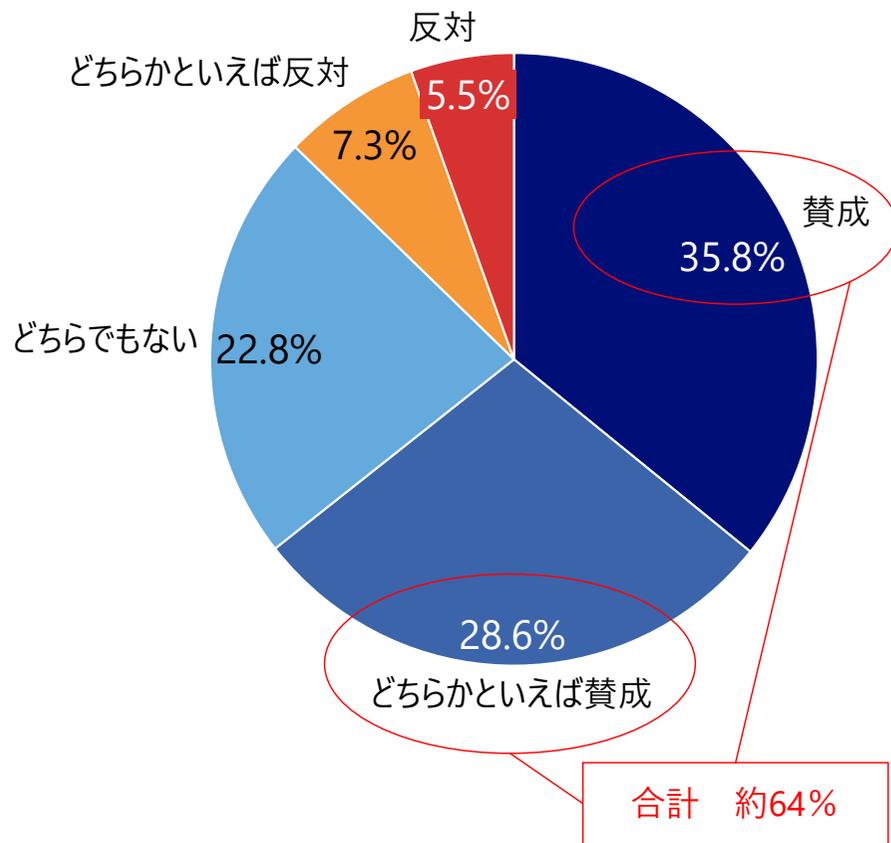
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

電子市役所について肯定的なお考えをもつ人が回答者の約64%（昨年度と同水準）を占めています。

電子市役所についてのお考え

(N=838)



区分		賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対
総数		35.8	28.6	22.8	7.3	5.5
性別	男性	42.0	26.7	17.9	7.8	5.6
	女性	30.9	29.5	27.0	7.1	5.5
年代別	15歳以上20歳未満	61.8	23.5	8.8	5.9	0.0
	20歳以上30歳未満	62.1	20.7	10.3	3.4	3.4
	30歳以上40歳未満	52.4	32.9	13.4	0.0	1.2
	40歳以上50歳未満	50.0	27.7	17.9	1.8	2.7
	50歳以上60歳未満	44.4	28.8	20.9	4.6	1.3
	60歳以上70歳未満	26.0	32.3	24.2	11.2	6.3
	70歳以上	15.6	23.3	35.6	12.8	12.8

## 【アンケート設問】

Q6 あなたは、効率化やサービス向上を目的として、市役所（地域庁舎含む）の窓口に行かなくても、インターネットやスマートフォンなどの通信を使って、各種の申請手続きや公的な証明書の入手等が行えるようにすることについて、どのようにお考えですか。（✓はひとつ）

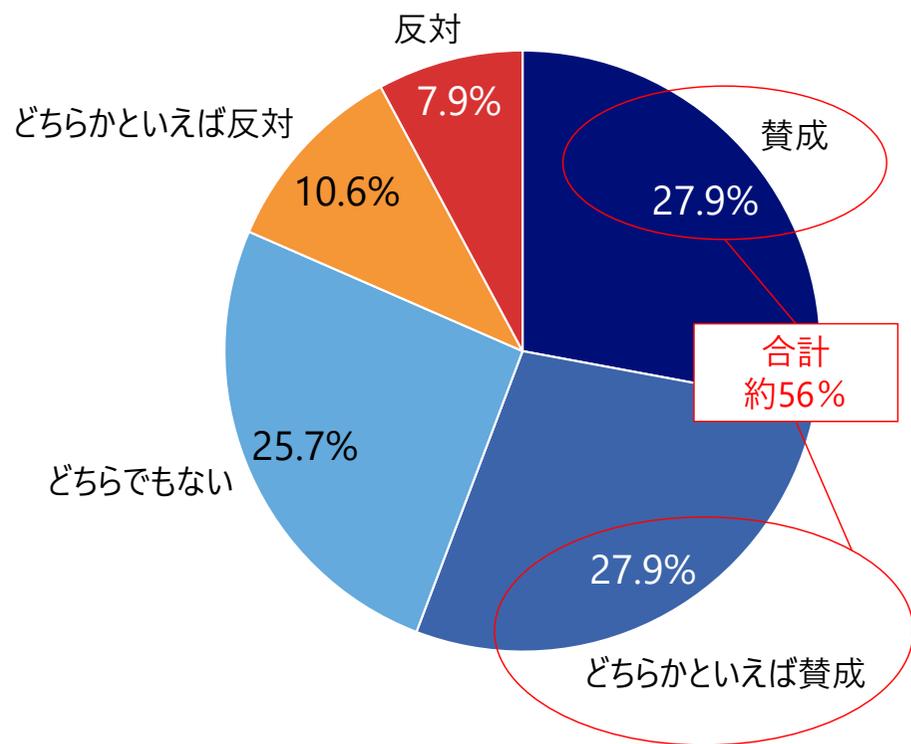
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

オープンデータ化について肯定的なお考えをもつ人が回答者の約56%（昨年度より2%微増）を占めています。

オープンデータ化について（行政が保有しているデータを必要とする人が利用できるようにすること）

(N=836)



区分		賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対
総数		27.9	27.9	25.7	10.6	7.9
性別	男性	35.8	25.1	20.3	9.9	8.8
	女性	20.7	29.9	31.0	11.3	7.1
年代別	15歳以上20歳未満	58.8	26.5	14.7	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	51.7	27.6	10.3	10.3	0.0
	30歳以上40歳未満	34.1	23.2	23.2	13.4	6.1
	40歳以上50歳未満	32.1	29.5	25.0	6.3	7.1
	50歳以上60歳未満	29.6	23.7	27.6	12.5	6.6
	60歳以上70歳未満	23.1	37.1	22.2	10.0	7.7
	70歳以上	16.0	21.5	36.5	13.3	12.7

## 【アンケート設問】

Q7 あなたは、経済活性化や市民サービス向上を目的として、行政が保有しているデータ（個人情報を除く）を必要とする人が利用できるようにすることに賛成ですか。（✓はひとつ）

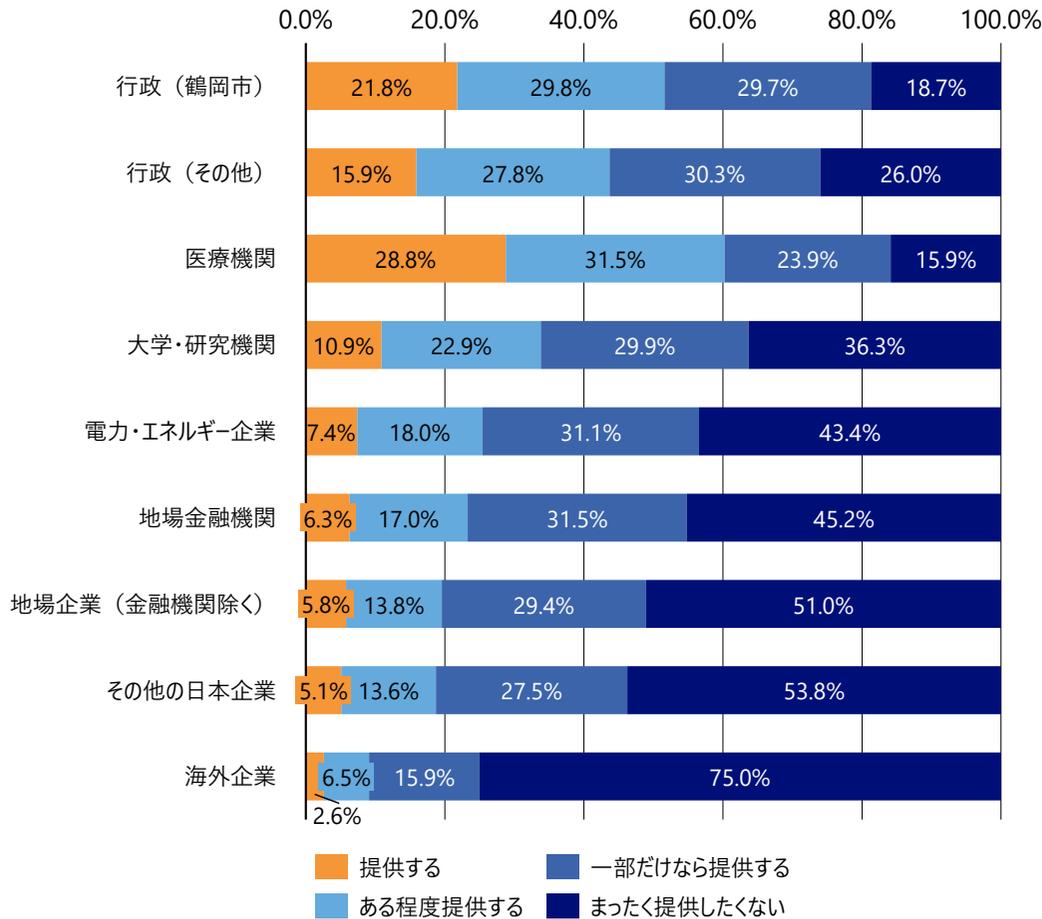
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

個人情報提供先として、鶴岡市役所に対する信頼度が医療機関に次いで高く、「一部だけなら提供する」を含めると8割以上が提供意思があることがわかりました。

個人情報の提供について

(N=846)



	提供する	ある程度提供する	一部だけなら提供する	まったく提供したくない
行政（鶴岡市）	21.8	29.8	29.7	18.7
行政（その他）	15.9	27.8	30.3	26.0
医療機関	28.8	31.5	23.9	15.9
大学・研究機関	10.9	22.9	29.9	36.3
電力・エネルギー企業	7.4	18.0	31.1	43.4
地場金融機関	6.3	17.0	31.5	45.2
地場企業（金融機関除く）	5.8	13.8	29.4	51.1
その他の日本企業	5.1	13.6	27.5	53.7
海外企業	2.6	6.5	15.9	75.0

## 【アンケート設問】

Q8 あなたは、個人情報保護されることを条件として、以下の主体から、サービス向上のために自分の個人情報の提供を求められた場合、提供しようと思いますか。（それぞれ○はひとつ）

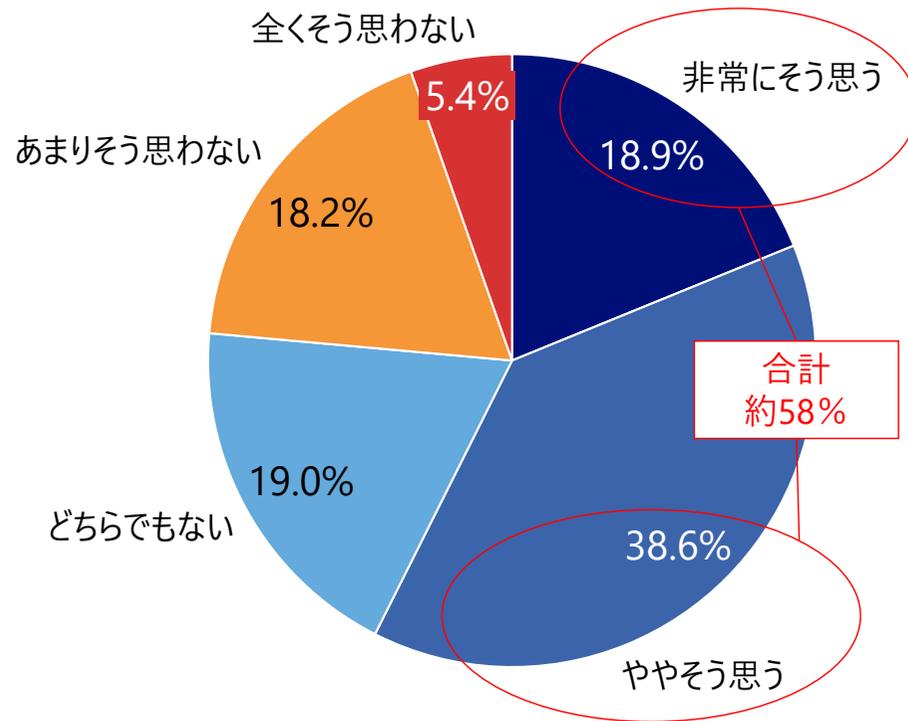
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

デジタル化の進展が生活の利便性や快適さをもたらすと考える人が約6割（昨年度と同水準）を占めています。

デジタル化の進展が、あなた自身の生活に利便性や快適さをもたらすと思いますか

(N=837)



区分		非常にそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全くそう思わない
総数		18.9	38.6	19.0	18.2	5.4
性別	男性	27.8	34.0	19.3	13.9	5.1
	女性	11.9	42.0	18.8	21.8	5.5
年代別	15歳以上20歳未満	44.1	47.1	2.9	5.9	0.0
	20歳以上30歳未満	31.0	48.3	6.9	13.8	0.0
	30歳以上40歳未満	39.0	46.3	7.3	6.1	1.2
	40歳以上50歳未満	24.1	47.3	23.2	4.5	0.9
	50歳以上60歳未満	20.3	41.8	15.7	17.6	4.6
	60歳以上70歳未満	12.2	38.3	23.0	21.6	5.0
	70歳以上	8.3	22.8	24.4	31.7	12.8

### 【アンケート設問】

Q9 あなたは、高度な情報通信技術や電子データの収集・分析及び伝達技術を利用した様々な製品やサービスが普及することが、あなた自身の生活に利便性や快適さをもたらすと思いますか。（✓はひとつ）

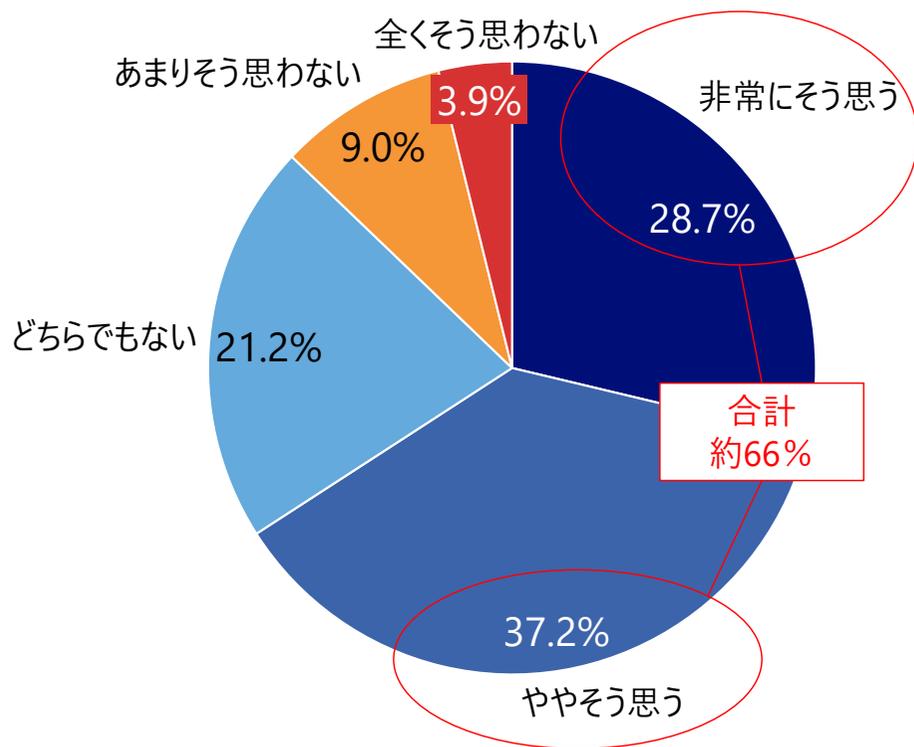
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

デジタル技術の導入や人材育成に市が積極的に取り組むべきと考えている人が全体の7割近くを占めています。

デジタル技術の導入・デジタル人材育成について、市が積極的に取り組むべきだと思いますか

(N=836)



区分		非常にそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全くそう思わない
総数		28.7	37.2	21.2	9.0	3.9
性別	男性	37.9	31.5	19.5	5.9	5.3
	女性	20.9	41.8	22.8	11.7	2.8
年代別	15歳以上20歳未満	52.9	32.4	8.8	5.9	0.0
	20歳以上30歳未満	34.5	44.8	20.7	0.0	0.0
	30歳以上40歳未満	47.6	40.2	8.5	2.4	1.2
	40歳以上50歳未満	33.9	37.5	21.4	3.6	3.6
	50歳以上60歳未満	28.1	34.6	20.9	13.1	3.3
	60歳以上70歳未満	23.5	41.6	21.7	10.0	3.2
	70歳以上	18.2	30.9	29.8	12.7	8.3

## 【アンケート設問】

Q10 あなたは、デジタル技術の導入・デジタル人材育成について、市が積極的に取り組むべきだと思いますか。（✓はひとつ）

数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

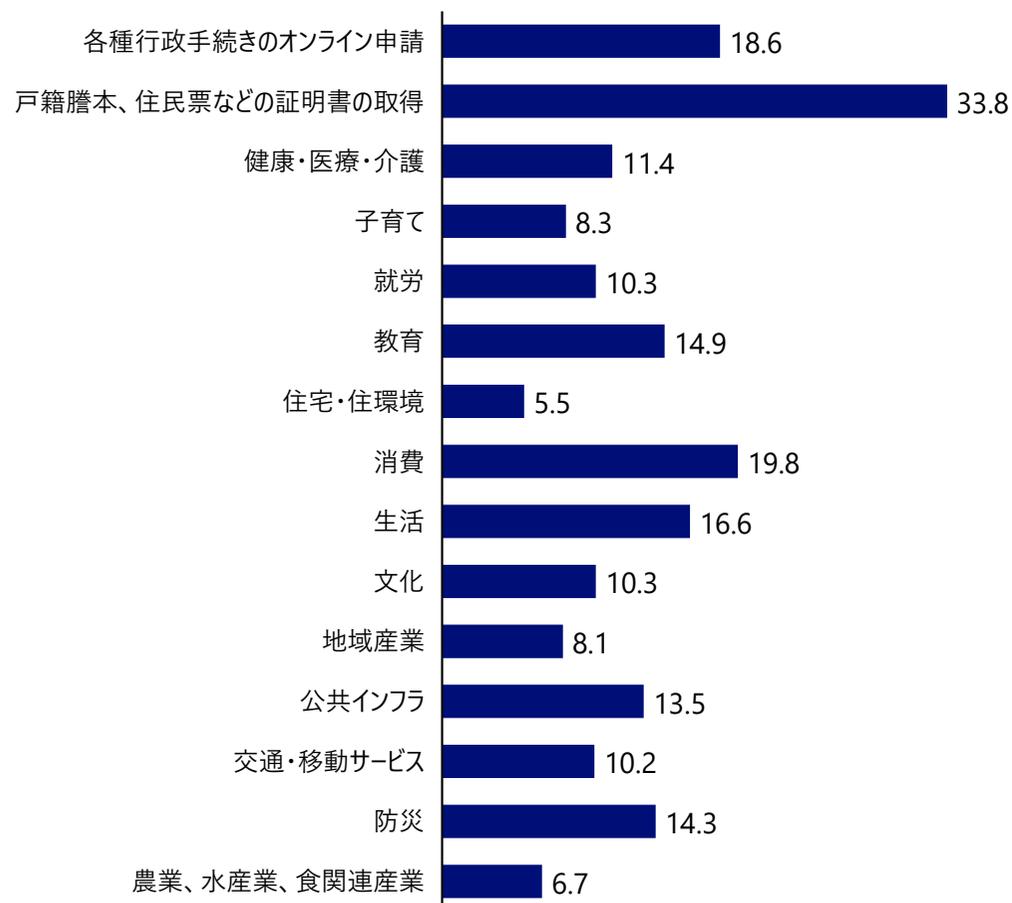
# 1. デジタル化の現状とニーズについて

地域のデジタル化が進んでいると感じている人は少なく、「わからない」と回答する人が半数程度を占めおり、昨年度からの顕著な変化も見られません。

デジタル化の進展度について

(N=846)

「進んでいる」と「やや進んでいる」の合計 (%)



施策分野	進んでいる	やや進んでいる	やや遅れている	遅れている	わからない
各種行政手続きのオンライン申請(助成金等の申請等)	2.6	16.0	20.0	15.7	45.8
戸籍謄本、住民票などの証明書の取得	9.3	24.5	16.3	9.8	40.1
健康・医療・介護(オンライン診療やヘルスケア情報の提供、見守りサービス等)	1.8	9.5	20.0	18.8	49.8
子育て(母子健康手帳の発行、子育て支援情報の提供等)	1.6	6.7	14.2	14.0	63.5
就労(テレワーク、TV会議等)	1.3	9.0	15.3	19.1	55.2
教育(オンライン授業・講座・研修等)	2.3	12.6	17.2	15.4	52.5
住宅・住環境(ホームセキュリティ等の防犯、省エネ等)	0.5	5.0	17.4	22.5	54.5
消費(キャッシュレス化、地域通貨等)	3.4	16.4	25.2	17.3	37.7
生活(情報案内、施設・サービスの予約等)	3.1	13.6	24.3	16.9	42.2
文化(図書館、博物館、美術館、文化会館等のサービスの充実)	1.7	8.6	20.7	17.5	51.6
地域産業(地域商店街、企業サービス、伝統産業、観光業等の充実)	1.5	6.6	21.3	22.1	48.5
公共インフラ(電気、ガス、水道等のエネルギー供給等)	1.3	12.1	22.1	16.3	48.2
交通・移動サービス(自動運転、バス等のロケーション案内、乗車予約、オンデマンドバス/タクシー等)	1.6	8.6	20.1	25.6	44.1
防災(災害情報の取得、避難場所やルートの案内等)	1.5	12.8	23.2	20.5	41.9
農業、水産業、食関連産業	1.2	5.5	19.2	18.0	56.1

【アンケート設問】

Q11 あなたは、お住まいの地域におけるデジタル化の進展度について、どのようにお考えですか。(それぞれ○はひとつ)

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

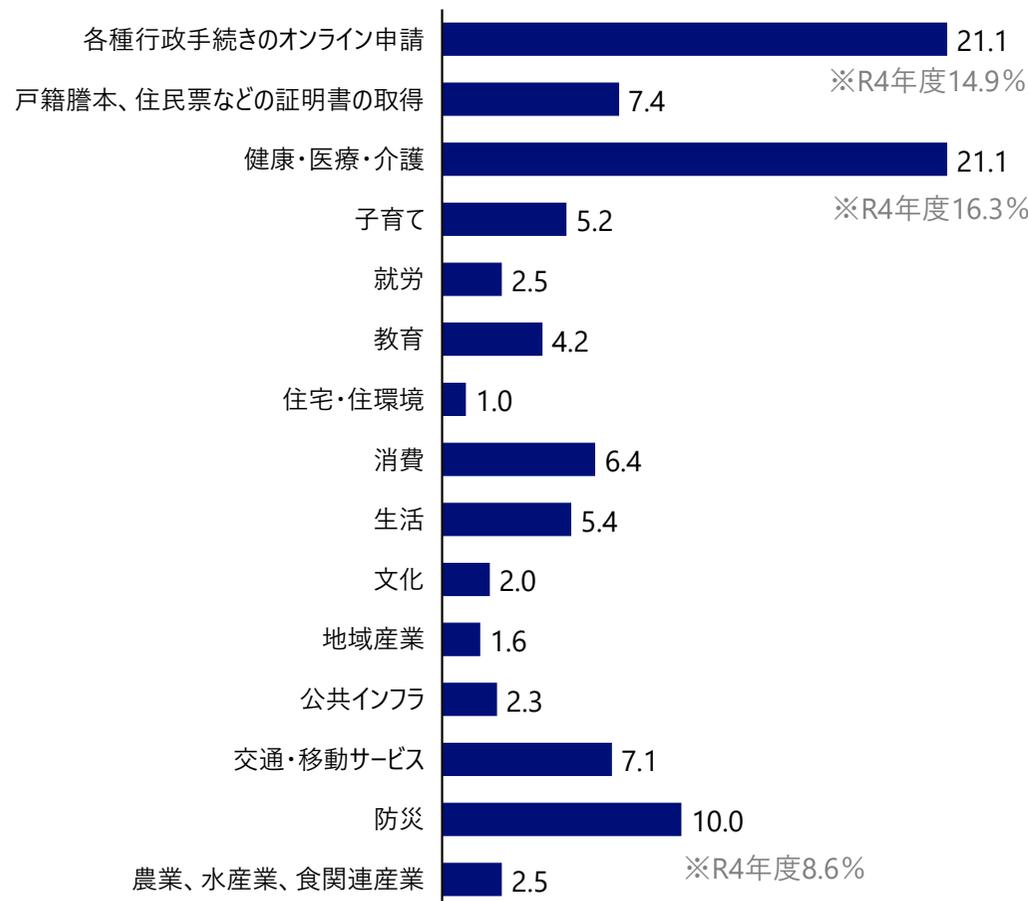
デジタル化が進んで欲しい分野は、「健康・医療・介護」、「行政手続きのオンライン申請」、「防災」の順で、この3分野に対する回答率は、昨年度よりも上昇しています。

デジタル化が進んで欲しい分野

(N=846)

1位に回答

(%)



施策分野	1位	2位	3位
各種行政手続きのオンライン申請(助成金等の申請等)	21.1	8.2	7.2
戸籍謄本、住民票などの証明書の取得	7.4	11.5	5.3
健康・医療・介護(オンライン診療やヘルスケア情報の提供、見守りサービス等)	21.1	14.4	11.3
子育て(母子健康手帳の発行、子育て支援情報の提供等)	5.2	4.9	5.0
就労(テレワーク、TV会議等)	2.5	2.7	2.0
教育(オンライン授業・講座・研修等)	4.2	4.9	4.5
住宅・住環境(ホームセキュリティ等の防犯、省エネ等)	1.0	4.3	5.6
消費(キャッシュレス化、地域通貨等)	6.4	7.9	7.4
生活(情報案内、施設・サービスの予約等)	5.4	9.4	9.6
文化(図書館、博物館、美術館、文化会館等のサービスの充実)	2.0	3.9	3.9
地域産業(地域商店街、企業サービス、伝統産業、観光業等の充実)	1.6	3.6	6.6
公共インフラ(電気、ガス、水道等のエネルギー供給等)	2.3	5.4	6.6
交通・移動サービス(自動運転、バス等のロケーション案内、乗車予約、オンデマンドバス/タクシー等)	7.1	8.0	11.4
防災(災害情報の取得、避難場所やルートの案内等)	10.0	9.2	9.8
農業、水産業、食関連産業	2.5	1.8	3.8

【アンケート設問】

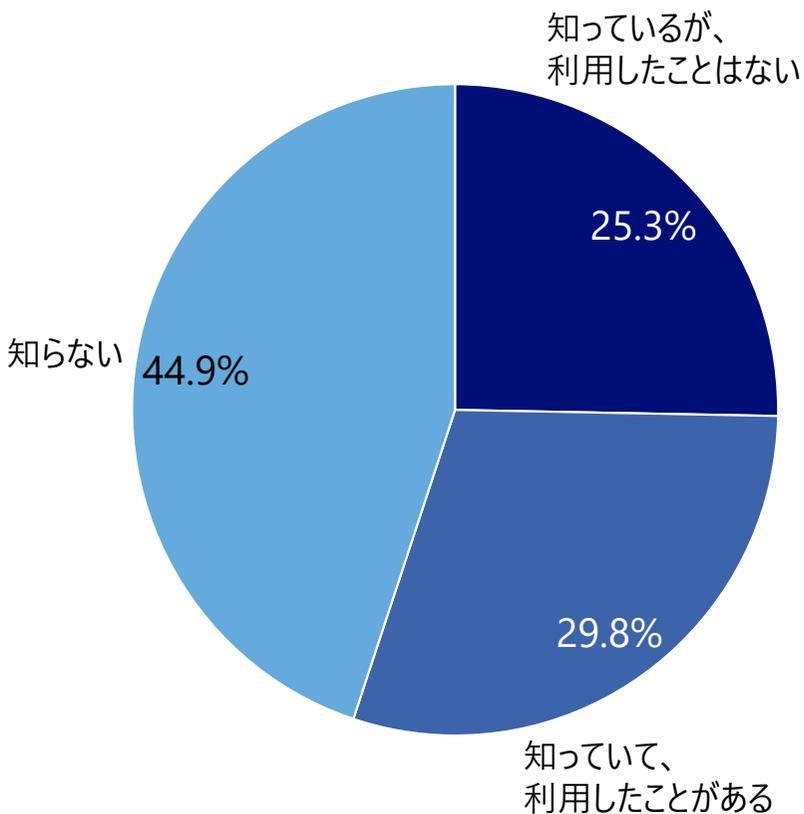
Q11-1 あなたは、お住まいの地域におけるデジタル化の進展度について、どのようにお考えですか。(それぞれ○はひとつ)

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

鶴岡市LINE公式アカウントを知っている人は約55%、利用したことがある人は約30%です。  
70歳以上の約34%は認知しているが、利用したことがある人は9%にとどまります。

鶴岡市LINE公式アカウントの認識度

(N=839)



区分		利用しているが、 利用したことはない	知っていて、 利用したことがある	知らない
総数		25.3	29.8	44.9
性別	男性	25.2	24.7	50.1
	女性	25.0	34.5	40.5
年代別	15歳以上20歳未満	29.4	14.7	55.9
	20歳以上30歳未満	10.3	44.8	44.8
	30歳以上40歳未満	22.0	42.7	35.4
	40歳以上50歳未満	21.6	48.6	29.7
	50歳以上60歳未満	22.2	40.5	37.3
	60歳以上70歳未満	31.7	26.7	41.6
	70歳以上	24.9	9.2	65.9

【アンケート設問】

Q12 鶴岡市LINE公式アカウントを知っていますか。(✓はひとつ)

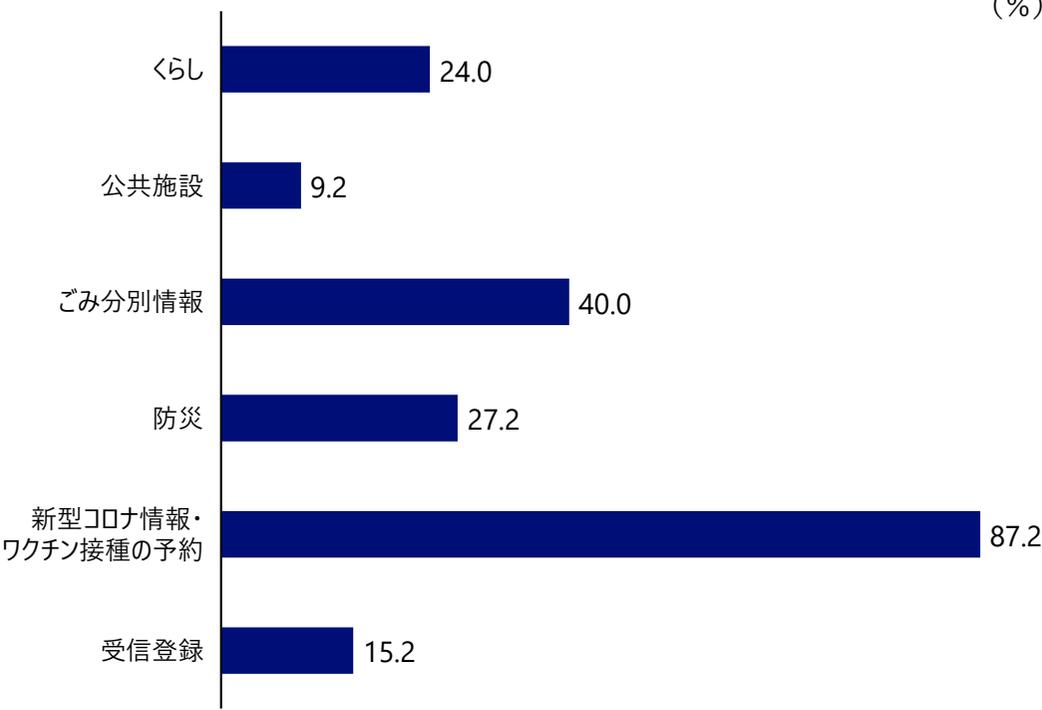
数値 (%) は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

鶴岡市公式LINEアカウントで最も多くの人に利用されている機能は、「新型コロナ情報・ワクチン接種の予約」（約87%）で、次に「ごみ分別情報」（約40%）となっています。

鶴岡市LINE公式アカウントの利用状況

(N=250)



区分	暮らし・健康	公共施設 （スポーツ施設、 公民館・プラネタリウム、 施設マップ）	ごみ分別情報 （ごみ分別検索チャットボット、 ごみ処理施設、よくある質問、 ごみ出しのルール、ごみに関するその他の情報）	防災 （防災・気象情報等、 ハザードマップ、雪の情報、 消防出動情報、避難所開設状況、 防災のお知らせ利用者登録）	新型コロナ情報・ ワクチン接種の予約	受信登録 （セグメント配信の設定、 ごみ収集日の通知設定）
総数	24.0	9.2	40.0	27.2	87.2	15.2
性別						
男性	29.3	9.8	38.0	22.8	83.7	17.4
女性	20.4	8.6	40.8	29.6	88.8	12.5
年代別						
15歳以上20歳未満	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0	0.0
20歳以上30歳未満	46.2	7.7	7.7	30.8	69.2	7.7
30歳以上40歳未満	22.9	8.6	48.6	34.3	77.1	11.4
40歳以上50歳未満	25.9	7.4	48.1	24.1	87.0	20.4
50歳以上60歳未満	21.0	9.7	32.3	30.6	91.9	14.5
60歳以上70歳未満	25.4	10.2	49.2	20.3	89.8	15.3
70歳以上	11.8	5.9	23.5	35.3	88.2	11.8

【アンケート設問】

Q12-1 Q12で「2. 知っていて、利用したことがある」を選択した人にうかがいます。利用したことがあるサービスの口に✓をつけてください。（✓はいくつでも）

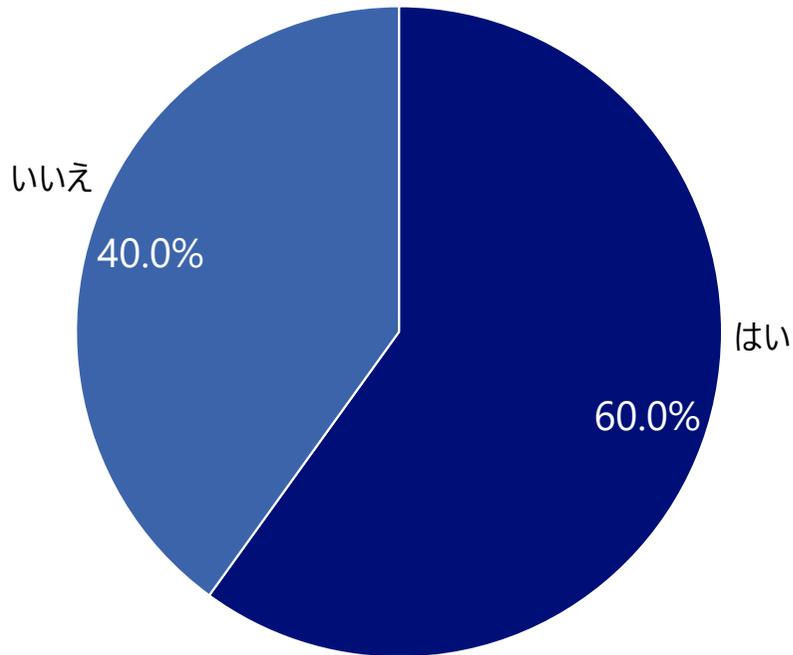
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

行政手続きが面倒と感じている人は、全体の6割を占めます。

鶴岡市での行政手続きが面倒と感じたことがある人

(N=816)



区分		はい	いいえ
総数		60.0	40.0
性別	男性	56.7	43.3
	女性	63.5	36.5
年代別	15歳以上20歳未満	44.1	55.9
	20歳以上30歳未満	69.0	31.0
	30歳以上40歳未満	79.0	21.0
	40歳以上50歳未満	74.5	25.5
	50歳以上60歳未満	67.8	32.2
	60歳以上70歳未満	54.0	46.0
	70歳以上	46.3	53.7

【アンケート設問】

Q13 あなたは、これまでに鶴岡市での行政手続きが面倒と感じたことがありますか。（✓はひとつ）

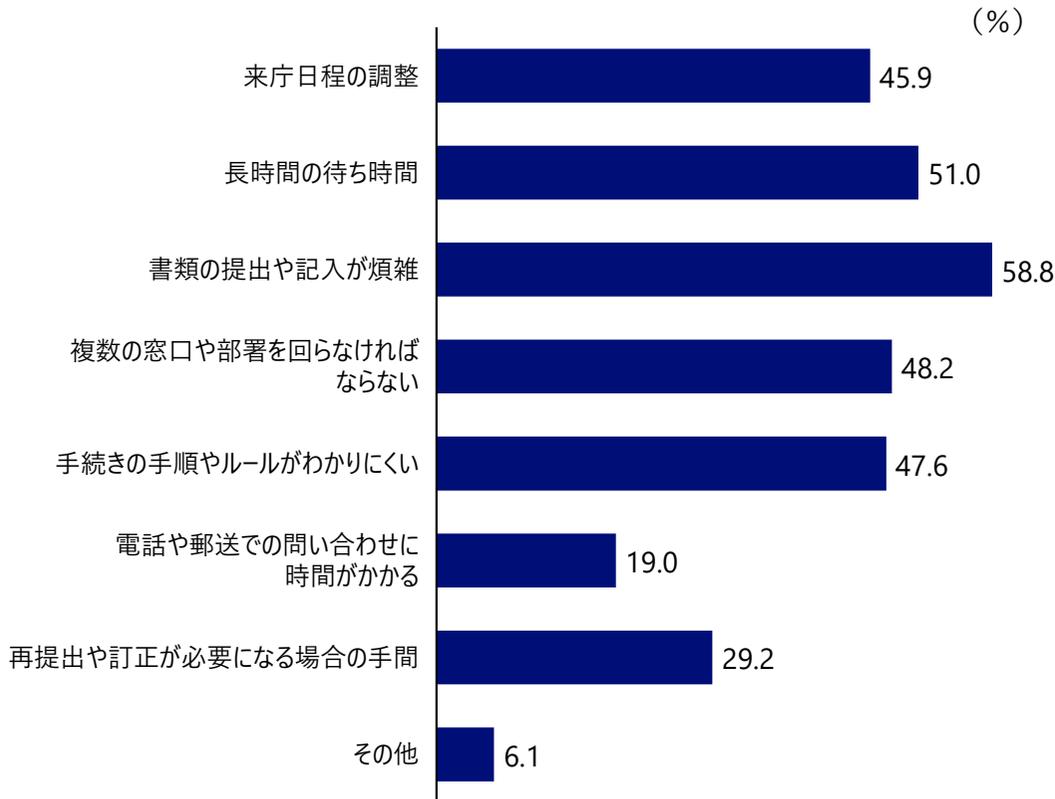
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

面倒と感じる利用の上位は、「書類の提出や記入が煩雑」（58.8%）、「長時間の待ち時間」（51.0%）、「複数の窓口や部署を回らなければいけない」（48.2%）です。

行政手続きが面倒だと感じた理由

(N=490)



区分		来庁日程の調整	長時間の待ち時間	書類の提出や記入が煩雑	複数の窓口や部署を回らなければいけない	手続きの手順やルールがわかりにくい	電話や郵送での問い合わせに時間がかかる	再提出や訂正が必要になる場合の手間	その他
総数		45.9	51.0	58.8	48.2	47.6	19.0	29.2	6.1
性別	男性	44.4	46.9	58.0	47.8	51.2	21.7	28.5	5.8
	女性	46.5	53.9	59.8	48.3	45.0	16.6	29.9	5.9
年代別	15歳以上20歳未満	53.3	60.0	66.7	46.7	66.7	40.0	20.0	0.0
	20歳以上30歳未満	65.0	50.0	50.0	35.0	55.0	30.0	25.0	10.0
	30歳以上40歳未満	76.6	60.9	67.2	60.9	54.7	25.0	29.7	3.1
	40歳以上50歳未満	56.1	47.6	53.7	43.9	45.1	17.1	30.5	2.4
	50歳以上60歳未満	46.6	47.6	61.2	47.6	50.5	23.3	29.1	5.8
	60歳以上70歳未満	32.2	50.4	59.1	52.2	45.2	9.6	27.0	10.4
	70歳以上	22.2	49.4	55.6	42.0	39.5	16.0	33.3	4.9

### 【アンケート設問】

Q13-1 どのような理由で、行政手続きが面倒と感じましたか。（✓はいくつでも）」

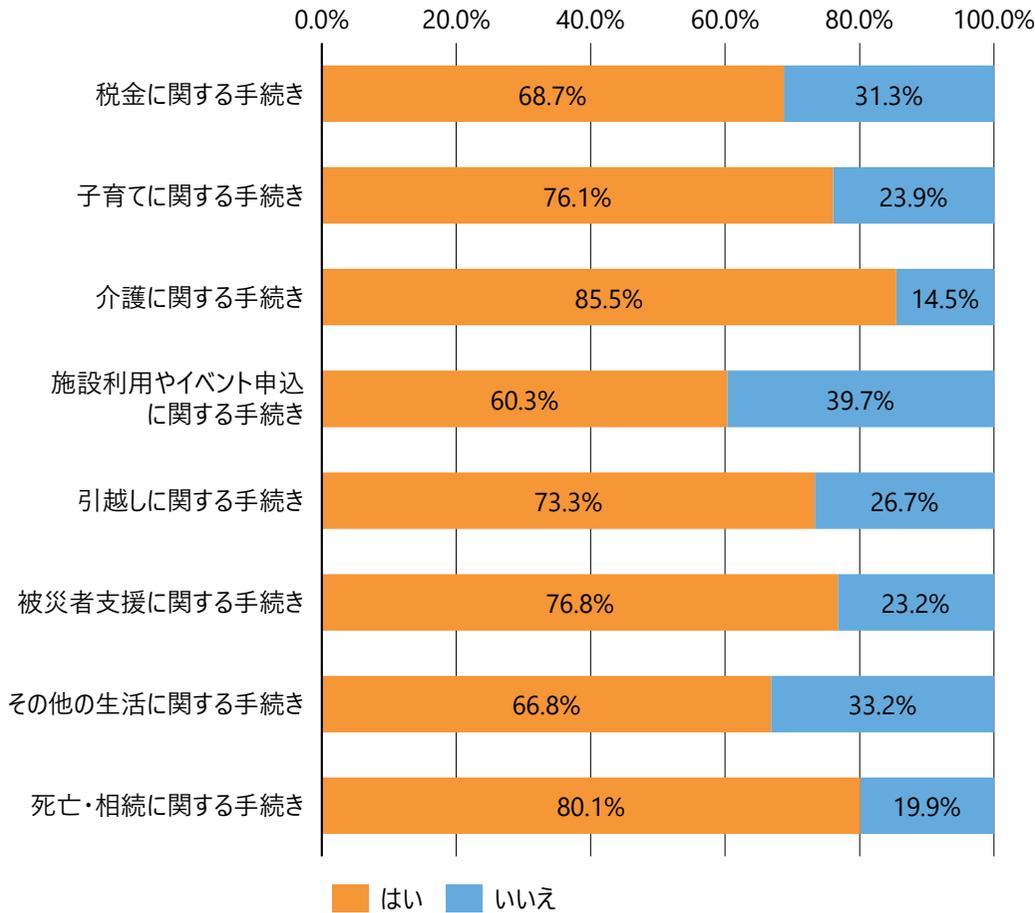
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

面倒と感じた手続きの上位は、「介護」（85.5%）、「死亡・相続」（80.1%）、「被災者支援関連」（76.8%）、「子育て」（76.1%）です。

面倒と感じた手続き（詳細）

(N=846)



	はい	いいえ
税金に関する手続き(例:自動車税の賦課徴収に関する事項の申告又は報告、自動車税住所変更届 等)	68.7	31.3
子育てに関する手続き(例:児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求、保育施設等の利用申込 等)	76.1	23.9
介護に関する手続き(例:要介護・要支援認定の申請、被保険者証の再交付申請 等)	85.5	14.5
施設利用やイベント申込に関する手続き(例:図書館の図書貸出予約、文化・スポーツ施設等の利用予約、研修・講習・各種イベント等の申込 等)	60.3	39.7
引越しに関する手続き(例:転入・転出届、水道使用開始届 等)	73.3	26.7
被災者支援に関する手続き(例:罹災(りさい)証明書の発行申請、災害障害見舞金の支給申請 等)	76.8	23.2
その他の生活に関する手続き(例:粗大ごみ収集の申込、犬の登録申請・死亡届 等)	66.8	33.2
死亡・相続に関する手続き(例:世帯主変更届、葬祭費の申請 等)	80.1	19.9

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

## 【アンケート設問】

Q13-2 次の①～⑧までの行政手続きを面倒と感じたことはありますか。

今までに、実施を検討したことがない行政手続きについては、「3 該当しない」を選択してください。（それぞれ○はひとつ）

数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

オンライン診療・服薬指導・医薬品の配送サービスを知っている人は4～5割程度で、利用したことがある人はごくわずかです。

健康・医療・介護に関する次のサービスの認識度

(N=846)



- 知っているが、利用したことはない
- 知っていて、利用したことがある
- 知らない

	利 用 し た こ と は な い	利 用 し た こ と が あ る	知 ら な い
オンライン診療(自宅等でスマホやパソコンを通じて医師の診察が受けられるサービス)	51.0	2.4	46.6
オンライン服薬指導(自宅等でスマホやパソコンを通じて薬局薬剤師から薬に関する説明が受けられるサービス)	43.1	1.7	55.2
医薬品の配送(医師によって処方された薬を宅配便等で自宅まで届けてもらうサービス)	39.5	5.4	55.0

### 【アンケート設問】

Q14 あなたは、健康・医療・介護に関する次のサービスを知っていますか。利用有無と併せてお答えください。(それぞれ○はひとつ)

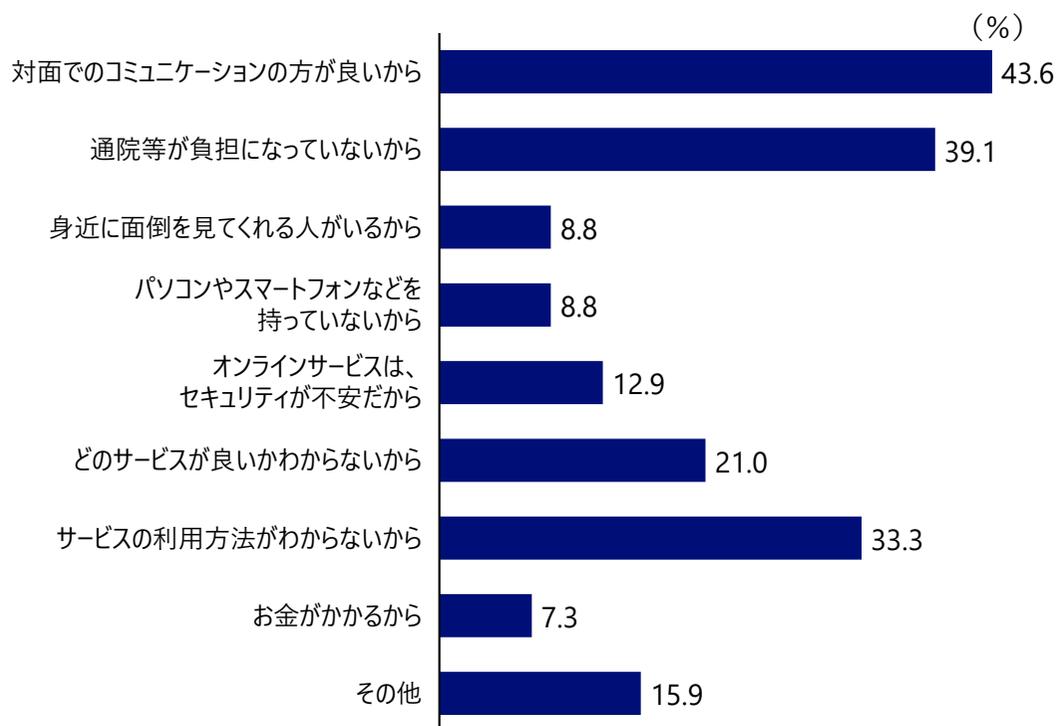
数値(%)は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

健康・医療に関するデジタルサービスを利用したことがない理由の上位は、「対面でのコミュニケーションの方が良いから」（43.6%）、「通院等が負担になっていないから」（39.1%）、「サービスの利用方法がわからないから」（33.3%）となっています。

健康・医療に関するデジタル化サービスを利用したことが理由

(N=466)



区分		対面でのコミュニケーションの方が良いから	通院等が負担になっていないから	身近に面倒を見てくれる人がいるから	パソコンやスマートフォンなどを持っていないから	オンラインサービスは、セキュリティが不安だから	どのサービスが良いかわからないから	サービスの利用方法がわからないから	お金がかかるから	その他
総数		43.6	39.1	8.8	8.8	12.9	21.0	33.3	7.3	15.9
性別	男性	44.9	35.7	8.6	7.6	14.1	19.5	35.1	9.2	17.8
	女性	42.2	40.7	8.6	8.2	11.6	22.0	31.7	6.3	14.9
年代別	15歳以上20歳未満	36.8	36.8	10.5	0.0	0.0	15.8	21.1	5.3	26.3
	20歳以上30歳未満	20.0	10.0	10.0	0.0	5.0	45.0	30.0	10.0	20.0
	30歳以上40歳未満	39.7	29.3	5.2	0.0	13.8	31.0	22.4	10.3	29.3
	40歳以上50歳未満	25.8	25.8	8.1	0.0	14.5	16.1	33.9	6.5	25.8
	50歳以上60歳未満	41.7	34.5	3.6	1.2	2.4	17.9	34.5	1.2	20.2
	60歳以上70歳未満	50.5	43.0	4.7	8.4	18.7	16.8	39.3	10.3	11.2
	70歳以上	55.8	56.7	18.3	25.0	16.3	22.1	34.6	8.7	1.9

### 【アンケート設問】

Q14-1 Q14で①～③のサービスのいずれかについて「1 知っているが、利用したことはない」を選択した人にうかがいます。利用したことはない理由は何ですか。（✓はいくつでも）

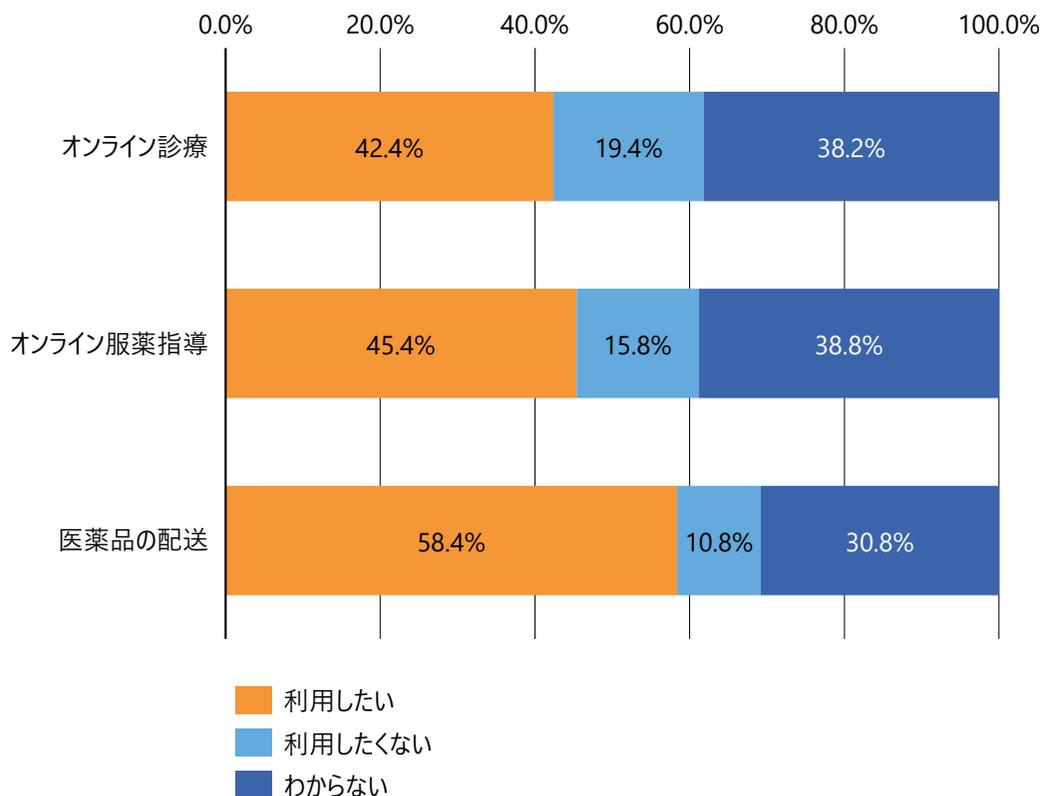
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

今後、オンライン診療・服薬指導・医薬品の配送サービスを「利用したい」と回答する割合は、「利用したくない」を大きく上回っています。

ご自身や家族等のために、今後、次のサービスを利用したいと思いませんか

(N=846)



	利用したい	利用したくない	わからない
オンライン診療(自宅等でスマホやパソコンを通じて医師の診察が受けられるサービス)	42.4	19.4	38.2
オンライン服薬指導(自宅等でスマホやパソコンを通じて薬局薬剤師から薬に関する説明が受けられるサービス)	45.4	15.8	38.8
医薬品の配送(医師によって処方された薬を宅配便等で自宅まで届けてもらうサービス)	58.4	10.8	30.8

### 【アンケート設問】

Q15 あなたは、ご自身や家族等のために、今後、次のサービスを利用したいと思いませんか。(それぞれ○はひとつ)

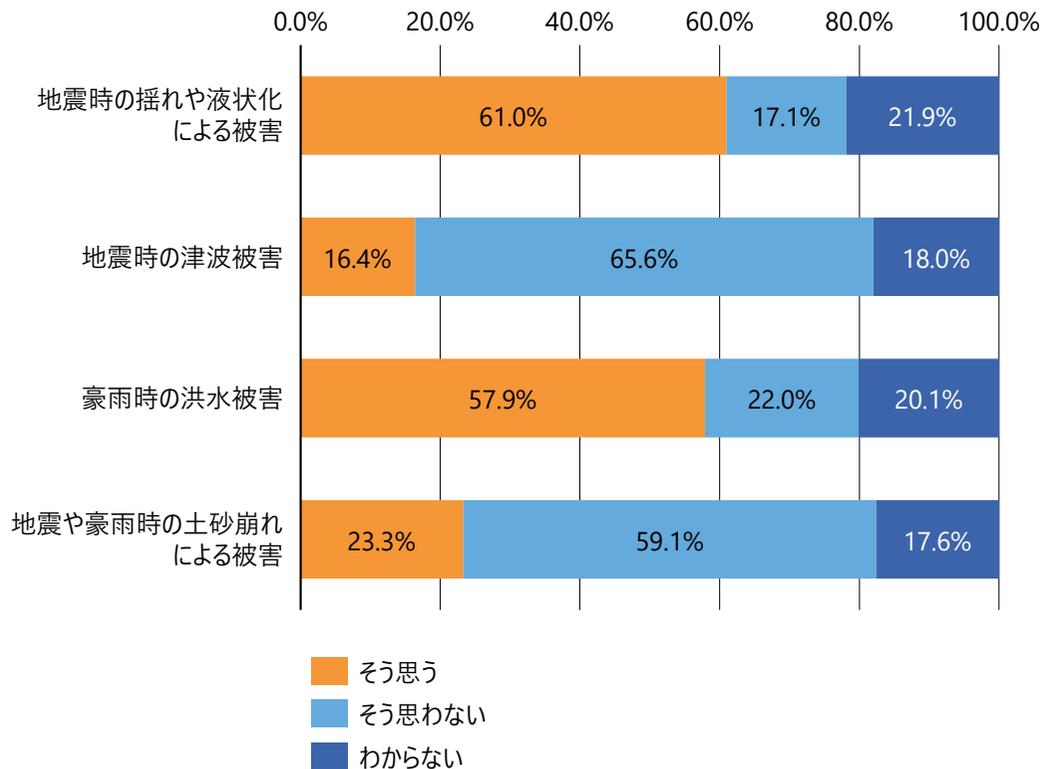
数値(%)は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

# 地震時による揺れ・液状化や豪雨時の洪水被害を受ける可能性があると考えている人は、全体の6割前後です。

将来、自宅が自然災害による被害を受ける可能性があると思いますか

(N=846)



	そう思う	そう思わない	わからない
地震時の揺れや液状化による被害	61.0	17.1	21.9
地震時の津波被害	16.4	65.6	18.0
豪雨時の洪水被害	57.9	22.0	20.1
地震や豪雨時の土砂崩れによる被害	23.3	59.1	17.6

### 【アンケート設問】

Q16 あなたは、将来、自宅が自然災害による被害を受ける可能性があると思いますか。①～④までの災害毎にお答えください。（それぞれ○はひとつ）

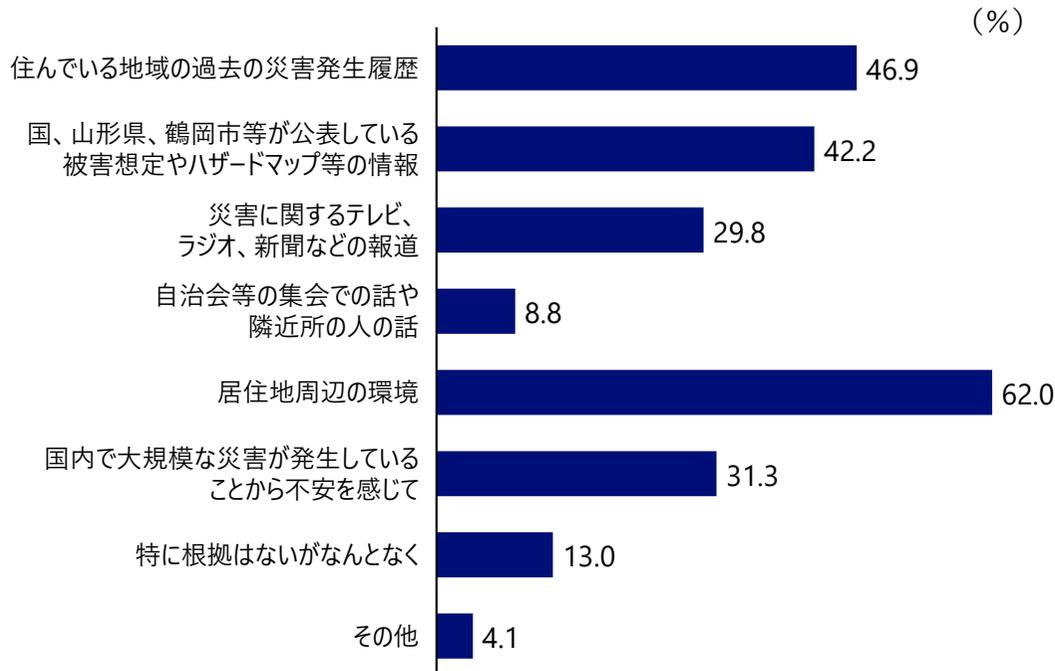
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

## 被災可能性をハザードマップ等の情報から判断している人は、全体の4割程度です。

自然災害による被害を受ける possible の理由や判断の根拠

(N=761)



区分		住んでいる地域の過去の災害発生履歴	国、山形県、鶴岡市等が公表している被害想定やハザードマップ等の情報	災害に関するテレビ、ラジオ、新聞などの報道	自治会等の集会での話や隣近所の人のお話	居住地周辺の環境	国内で大規模な災害が発生していることから不安を感じて	特に根拠はないがなんとなく	その他
総数		46.9	42.2	29.8	8.8	62.0	31.3	13.0	4.1
性別	男性	54.6	44.0	29.8	10.3	62.5	27.1	13.0	3.2
	女性	40.6	40.6	28.6	7.8	60.9	34.8	13.0	4.5
年代別	15歳以上20歳未満	45.2	25.8	22.6	0.0	74.2	22.6	19.4	6.5
	20歳以上30歳未満	38.5	34.6	19.2	3.8	53.8	34.6	7.7	3.8
	30歳以上40歳未満	35.6	47.9	21.9	6.8	46.6	34.2	15.1	2.7
	40歳以上50歳未満	37.1	45.7	28.6	5.7	63.8	31.4	12.4	2.9
	50歳以上60歳未満	51.1	41.1	24.1	4.3	61.0	27.0	12.1	5.0
	60歳以上70歳未満	50.0	40.0	30.5	10.5	64.5	35.5	9.5	4.0
	70歳以上	52.4	45.1	39.0	16.5	62.8	31.1	17.1	3.7

### 【アンケート設問】

Q16-1 Q16の①から④のいずれかで、「1 そう思う」または「2 そう思わない」と回答した人にうかがいます。回答した理由や判断の根拠をお答えください。（✓はいくつでも）

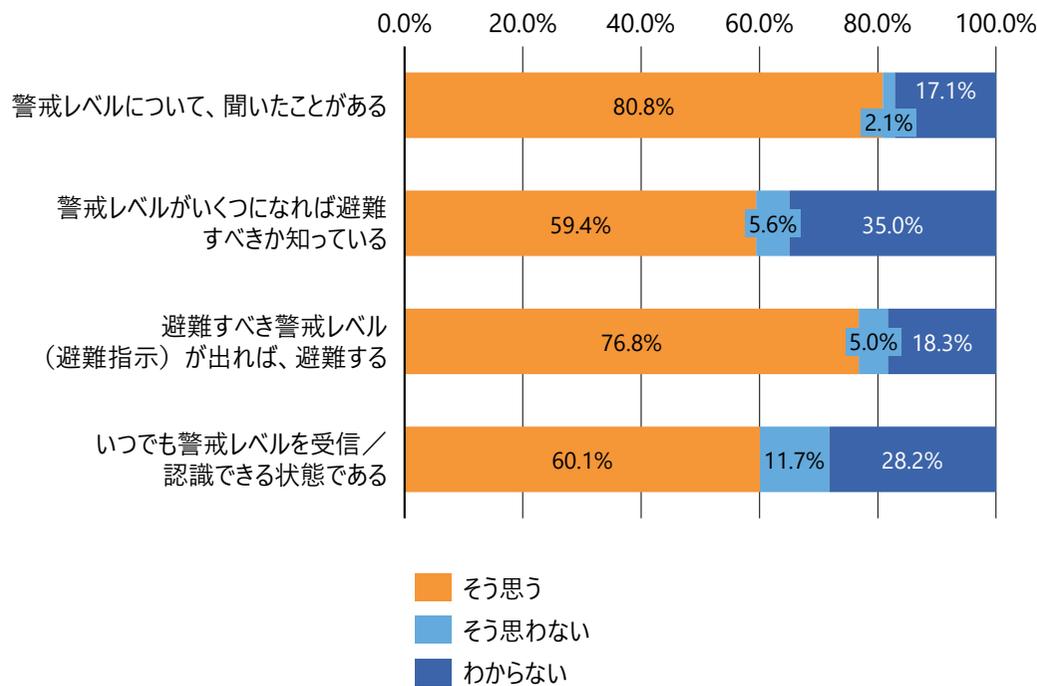
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

## 1. デジタル化の現状とニーズについて

約6割が避難すべき警戒レベルを理解しているが、2割強は警戒レベルが出ても避難するとは「思わない」、または「わからない」と回答、約4割は警戒レベルを受信・認識できる状態であると「思わない」、または「わからない」と回答しています。

豪雨時等の避難情報への理解や行動

(N=846)



	そう思う	そう思わない	わからない
警戒レベルについて、聞いたことがある	80.8	2.1	17.1
警戒レベルがいくつになれば避難すべきか知っている	59.4	5.6	35.0
避難すべき警戒レベル(避難指示)が出れば、避難する	76.8	5.0	18.3
いつでも警戒レベルを受信/認識できる状態である	60.1	11.7	28.2

### 【アンケート設問】

Q17 豪雨時等の避難情報へのあなた自身の理解や行動についてお答えください。(それぞれ○はひとつ)

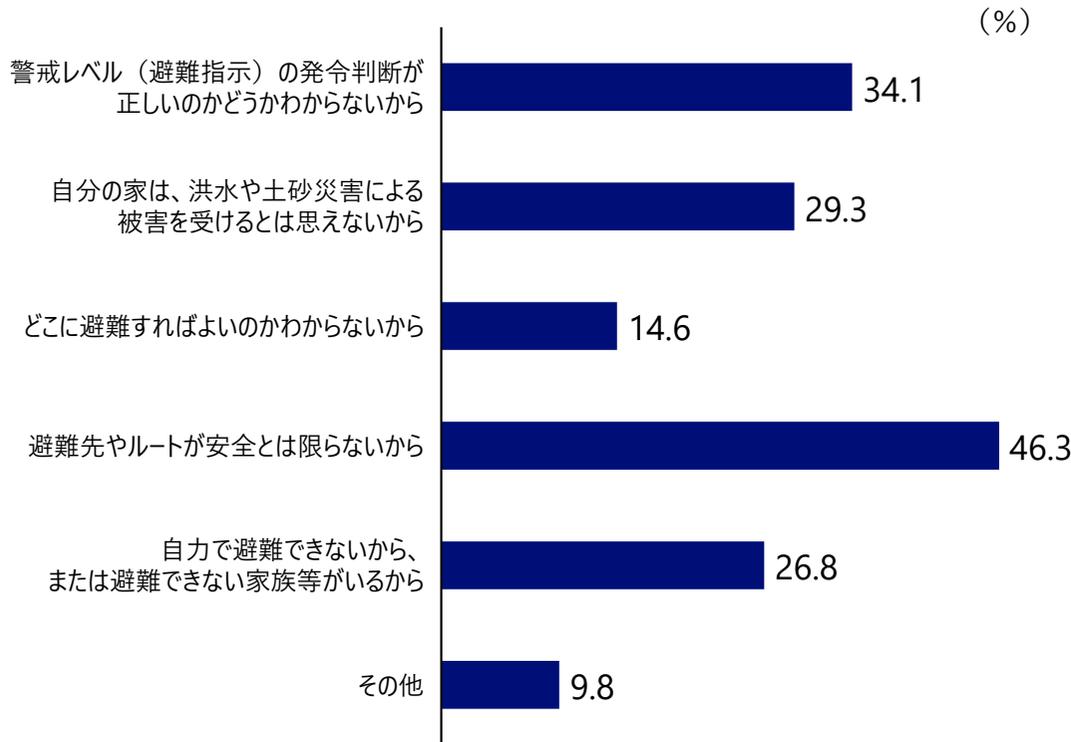
数値(%)は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない。

# 1. デジタル化の現状とニーズについて

避難指示が出ても避難しない理由として、「避難先やルートが安全とは限らないから」(46.3%) とする人が最も多く、他の理由と比較して特に高い割合を占めています。

避難指示が出ても避難しない理由

(N=41)



区分		警戒レベル（避難指示）の発令判断が正しいのかわからないから	自分の家は、洪水や土砂災害による被害を受けるとは思えないから	どこに避難すればよいのかわからないから	避難先やルートが安全とは限らないから	自力で避難できないから、または避難できない家族等がいるから	その他
総数		34.1	29.3	14.6	46.3	26.8	9.8
性別	男性	31.8	31.8	13.6	50.0	22.7	9.1
	女性	35.3	23.5	17.6	47.1	35.3	11.8
年代別	15歳以上20歳未満	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	30歳以上40歳未満	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	40歳以上50歳未満	60.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0
	50歳以上60歳未満	33.3	33.3	16.7	66.7	33.3	0.0
	60歳以上70歳未満	33.3	33.3	16.7	58.3	16.7	0.0
	70歳以上	10.0	30.0	10.0	50.0	60.0	10.0

【アンケート設問】

Q17-1 Q17③で「2 そう思わない」を選択した人にうかがいます。そのように回答した理由をお知らせください。（✓はいくつでも）

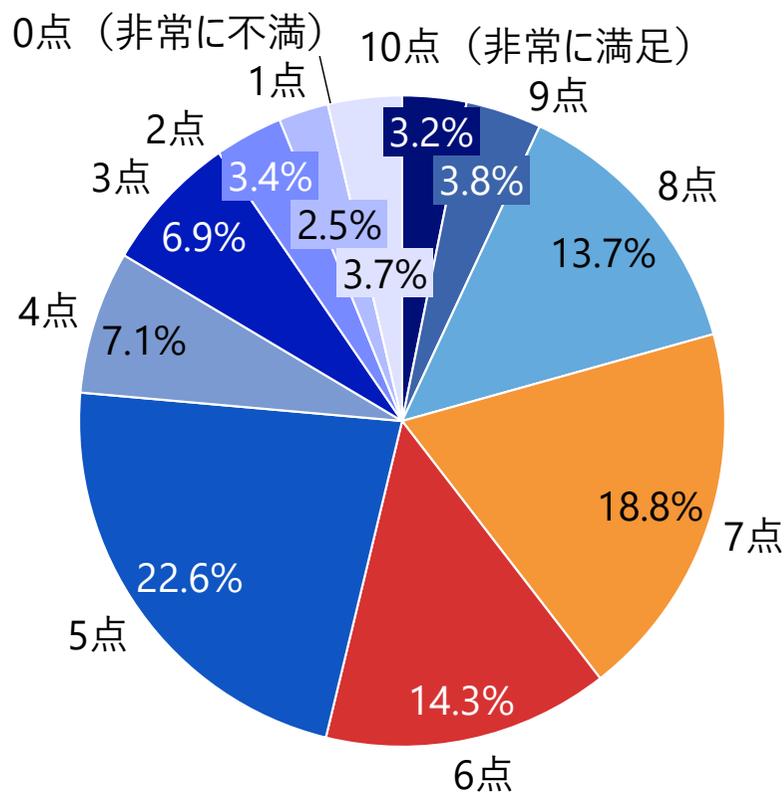
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

## II. 生活の満足度・幸福度について

生活の満足度は、10点満点で平均5.6（昨年度と同水準）となりました。10～20代では平均が6である一方、20代では4.9、30代、40代も相対的に低い値となっています。

生活の満足度（全体）

(N=832)



		平均点
総数		5.6
性別	男性	5.6
	女性	5.7
年代別	15歳以上20歳未満	6.0
	20歳以上30歳未満	4.9
	30歳以上40歳未満	5.2
	40歳以上50歳未満	5.2
	50歳以上60歳未満	5.7
	60歳以上70歳未満	5.9
	70歳以上	5.9

### 【アンケート設問】

Q18 あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数の上に○を記入してください。10点、0点の場合は「非常に満足している」もしくは「全く満足していない」を○で囲んでください。（○はひとつ）

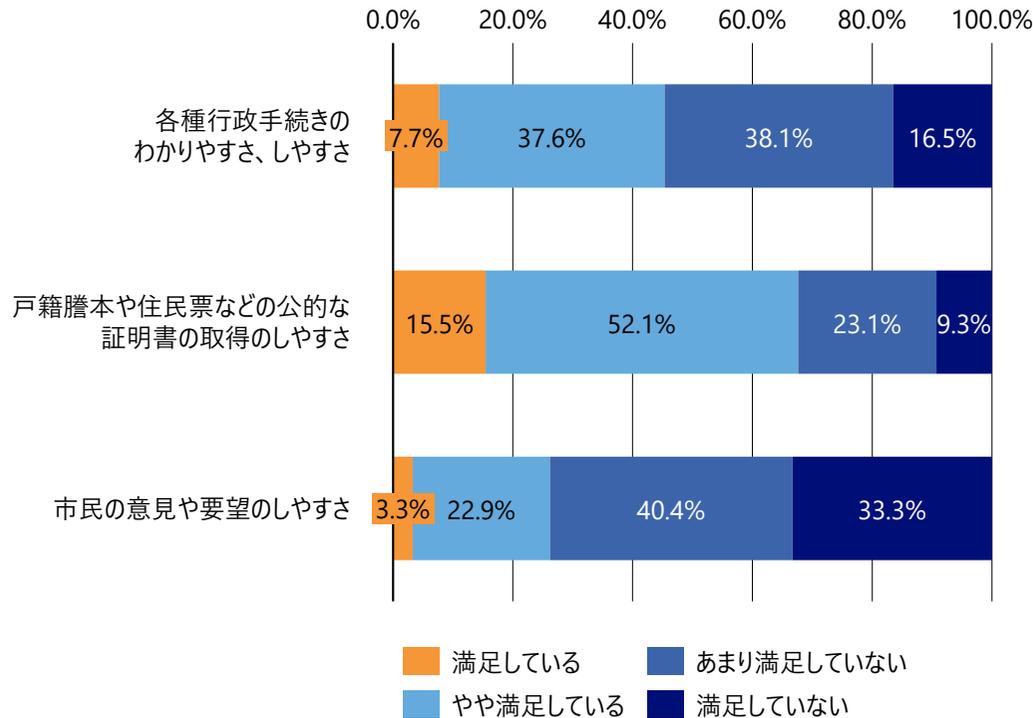
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

「各種行政手続きのわかりやすさ、しやすさ」では不満が過半数を超えており、「市民の意見や要望のしやすさ」では不満が7割以上を占めています。

生活の満足度 A:行政サービス

(N=846)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
各種行政手続き(助成金等の申請、確定申告等)のわかりやすさ、しやすさ	7.7	37.6	38.1	16.5
戸籍謄本や住民票などの公的な証明書の取得のしやすさ	15.5	52.2	23.1	9.3
市民の意見や要望のしやすさ	3.3	22.9	40.4	33.3

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑲の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

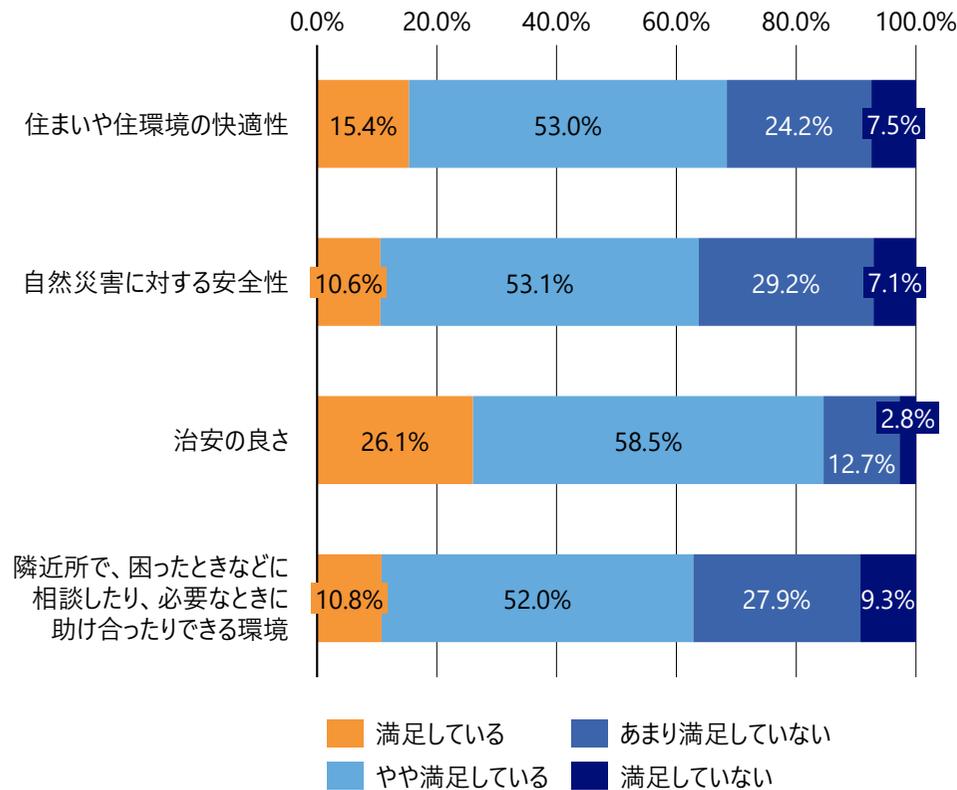
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

住環境の快適性、自然災害に対する安全性、治安の良さ、隣近所との助け合いが出来る環境に対して、約6~8割の人が「満足している」または「やや満足している」と回答しています。

生活の満足度 B:住環境・安全・安心

(N=846)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
住まいや住環境の快適性	15.4	53.0	24.2	7.5
自然災害(地震や津波、台風、豪雨等の水害、土砂災害など)に対する安全性	10.6	53.1	29.2	7.1
治安の良さ	26.1	58.5	12.7	2.8
隣近所で、困ったときなどに相談したり、必要なときに助け合ったりできる環境	10.8	52.0	27.9	9.3

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑦の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

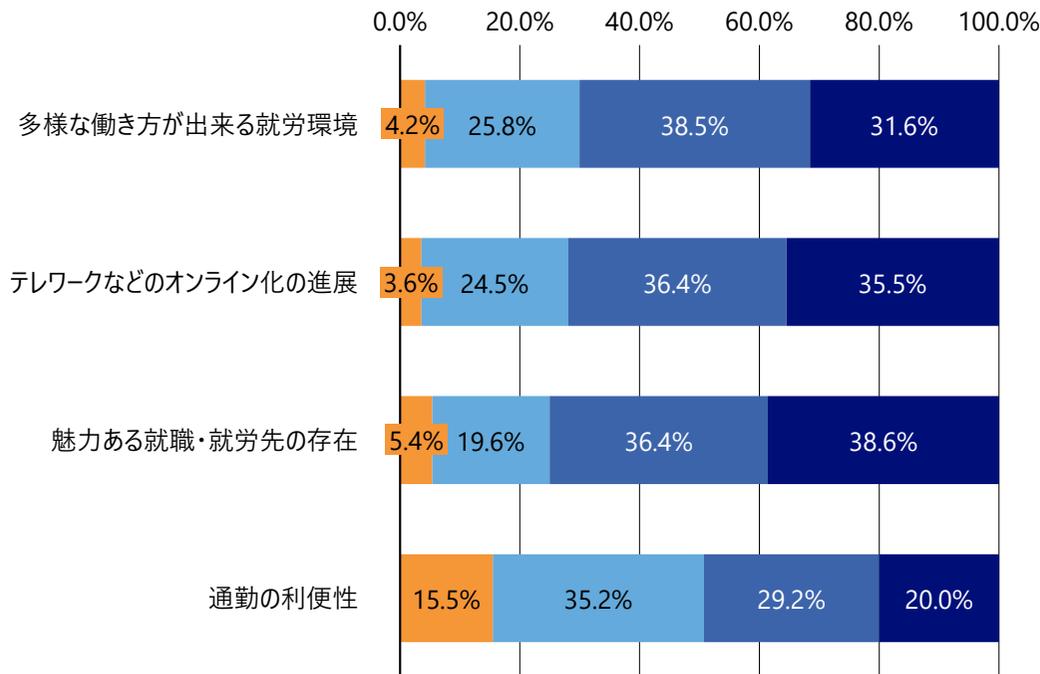
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

「多様な働き方が出来る就労環境」や「テレワークなどのオンライン化の進展」について満足している人は約28%程度で、「魅力ある就職・就労先の存在」では約25%程度にとどまっています。

生活の満足度 C:仕事

(N=846)



■ 満足している    ■ あまり満足していない  
■ やや満足している    ■ 満足していない

	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
多様な働き方(在宅勤務、ワーケーション等)が出来る就労環境	4.2	25.8	38.5	31.6
テレワークなどのオンライン化の進展	3.6	24.5	36.4	35.5
魅力ある就職・就労先の存在	5.4	19.6	36.4	38.6
通勤の利便性	15.5	35.2	29.2	20.0

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合  
 ワケーション：「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、  
 会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと。

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑦の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

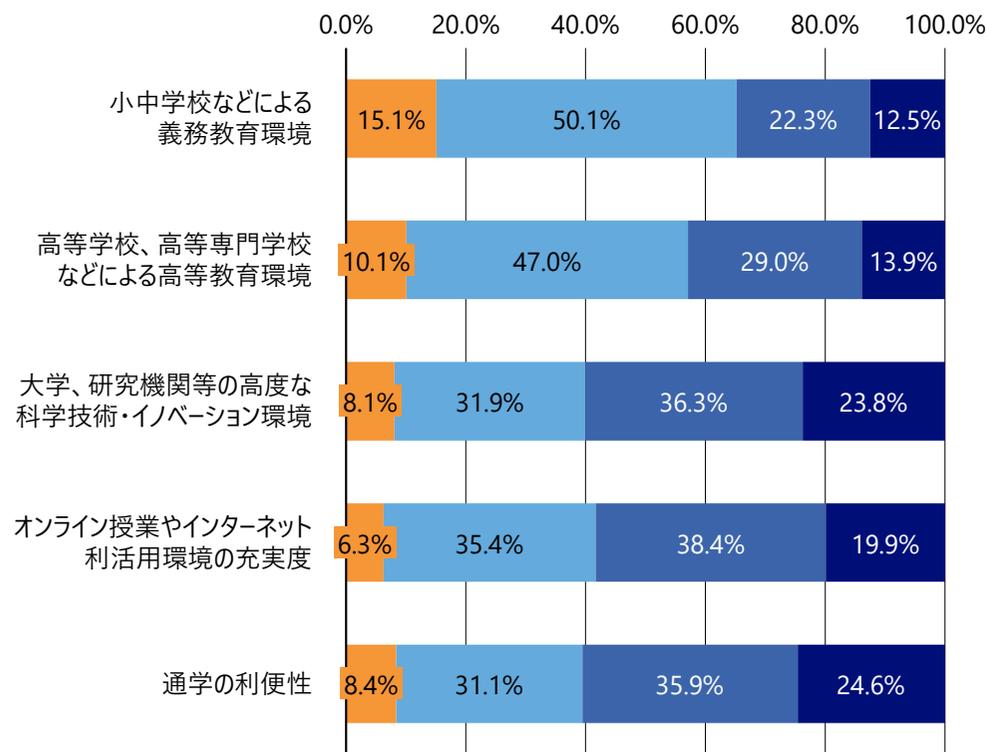
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

「満足している」「やや満足している」人は、義務教育・高等教育環境では約6割、イノベーション環境やインターネット利活用環境では約4割となっています。

生活の満足度 D:学業

(N=846)



■ 満足している    ■ あまり満足していない  
■ やや満足している    ■ 満足していない

	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
小中学校などによる義務教育環境	15.1	50.1	22.3	12.5
高等学校、高等専門学校などによる高等教育環境	10.1	47.0	29.0	13.9
大学、研究機関等の高度な科学技術・イノベーション環境	8.1	31.9	36.3	23.8
オンライン授業やインターネット利活用環境の充実度	6.3	35.4	38.4	19.9
通学の利便性	8.4	31.1	35.9	24.6

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑲の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

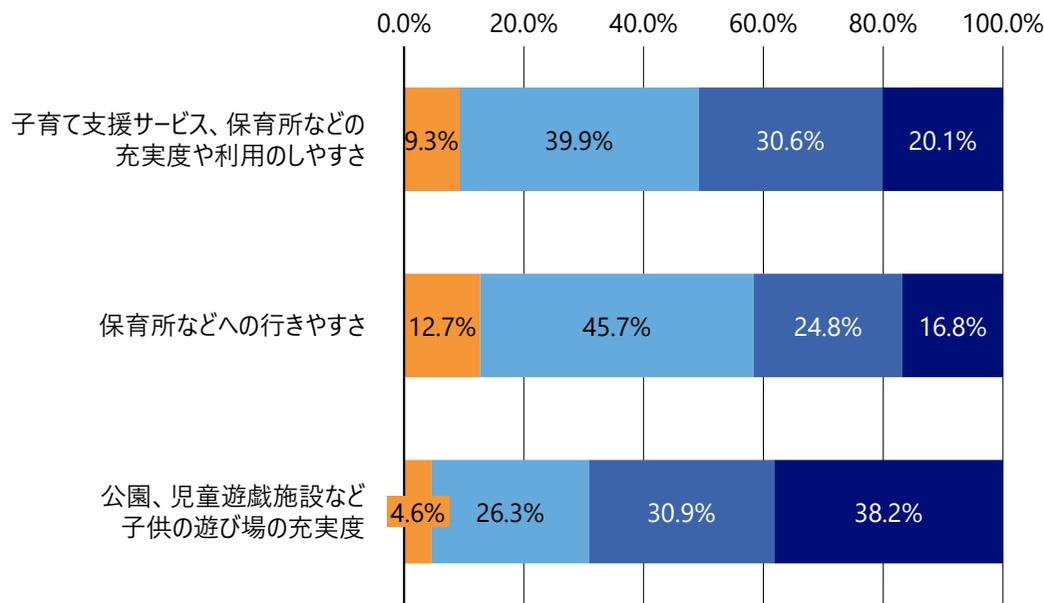
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

「子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ」「保育所などへの行きやすさ」については、5～6割が満足（やや満足を含む）、「公園、児童遊戯施設など子供の遊び場の充実度」については7割近くが不満（やや不満を含む）と回答しています。

生活の満足度 E:家事・育児

(N=846)



■ 満足している    ■ あまり満足していない  
■ やや満足している    ■ 満足していない

	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ	9.3	39.9	30.6	20.1
保育所などへの送迎のしやすさ	12.7	45.7	24.8	16.8
公園、児童遊戯施設など子供の遊び場の充実度	4.6	26.3	30.9	38.2

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①～⑦の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

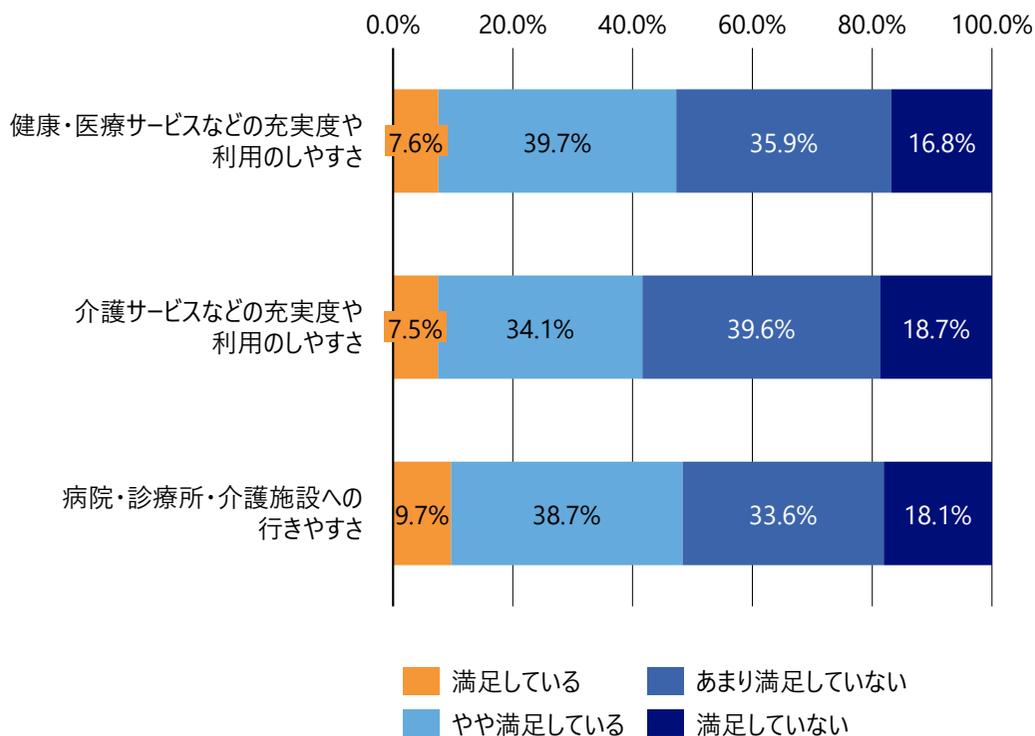
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

健康・医療サービスの充実度や利用のしやすさ、介護サービス、病院・診療所・介護施設への行きやすさは、いずれも「不満」が「満足」を上回る結果となっています。

生活の満足度 F:健康・医療・介護

(N=846)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
健康・医療サービスなどの充実度や利用のしやすさ	7.6	39.7	35.9	16.8
介護サービスなどの充実度や利用のしやすさ	7.5	34.1	39.6	18.7
病院・診療所・介護施設への行きやすさ	9.7	38.7	33.6	18.1

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑲の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

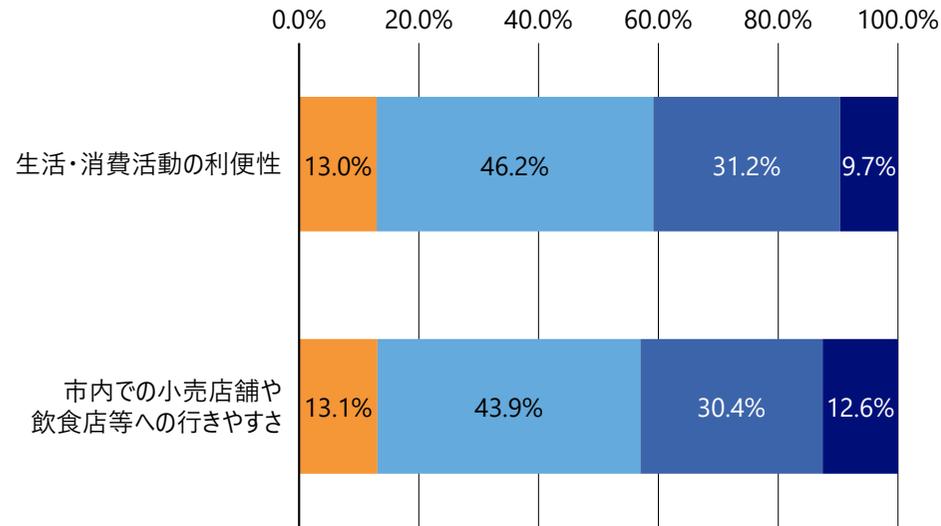
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

生活・消費活動の利便性に対して、「満足している」または「やや満足している」とする人は6割近くを占めます。

生活の満足度 G:買い物・サービス

(N=846)



■ 満足している    ■ あまり満足していない  
■ やや満足している    ■ 満足していない

	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
生活・消費活動の利便性	13.0	46.2	31.2	9.7
市内での小売店舗や飲食店等への行きやすさ	13.1	43.9	30.4	12.6

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑲の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

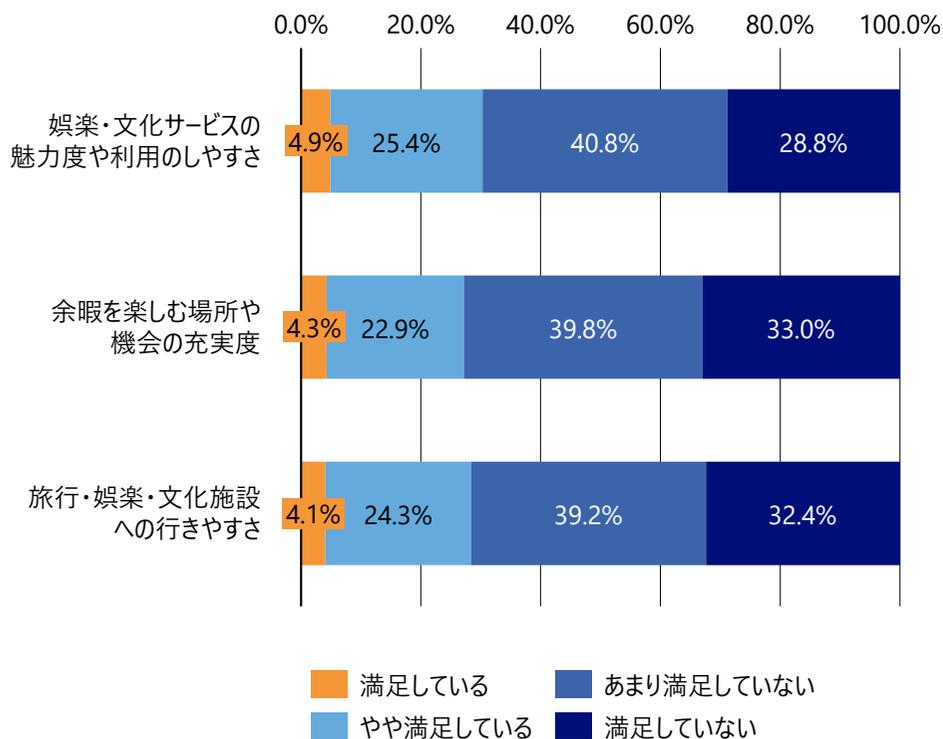
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

娯楽・文化サービス、余暇機会に対して、「満足している」または「やや満足している」とする人は2割強で、満足していない人の割合が高い傾向にあります。

生活の満足度 H:教養・趣味・娯楽

(N=846)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
娯楽・文化サービスの魅力度や利用のしやすさ	4.9	25.4	40.8	28.8
余暇を楽しむ場所や機会の充実度	4.3	22.9	39.8	33.0
旅行・娯楽・文化施設への行きやすさ	4.1	24.3	39.2	32.4

表の数値は、全回答者数（846人）から「該当しない」を引いた人数に対する割合

### 【アンケート設問】

Q19 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

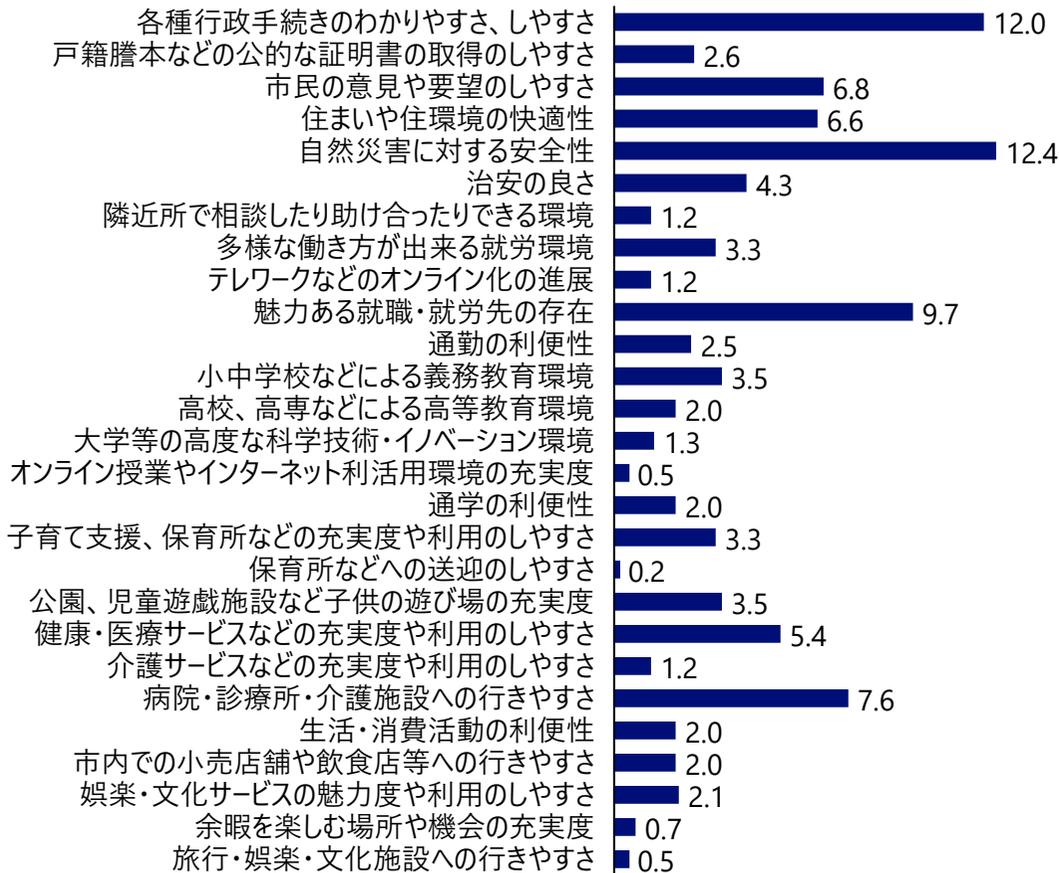
## II. 生活の満足度・幸福度について

生活の中で最も重要と考えるものでは、「自然災害に対する安全性」、「各種行政手続きのわかりやすさ」、「魅力ある就職・就労先」となっています。

生活の満足度 最も重要と考えるもの（上位3つ）

(N=846)

### 1位に回答



	1位	2位	3位
各種行政手続き(助成金等の申請、確定申告等)のわかりやすさ、しやすさ	12.0	0.0	0.0
戸籍謄本や住民票などの公的な証明書の取得のしやすさ	2.6	3.5	0.0
市民の意見や要望のしやすさ	6.8	1.8	1.4
住まいや住環境の快適性	6.6	1.0	0.0
自然災害(地震や津波、台風、豪雨等の水害、土砂災害など)に対する安全性	12.4	3.9	0.7
治安の良さ	4.3	2.4	1.9
隣近所で、困ったときなどに相談したり、必要ときに助け合ったりできる環境	1.2	4.1	1.4
多様な働き方(在宅勤務、ワーケーション等)が出来る就労環境	3.3	2.0	0.2
テレワークなどのオンライン化の進展	1.2	1.2	0.5
魅力ある就職・就労先の存在	9.7	7.9	1.2
通勤の利便性	2.5	2.6	0.5
小中学校などによる義務教育環境	3.5	3.3	2.3
高等学校、高等専門学校などによる高等教育環境	2.0	2.9	1.2
大学、研究機関等の高度な科学技術・イノベーション環境	1.3	1.6	0.7
オンライン授業やインターネット利活用環境の充実度	0.5	0.2	1.2
通学の利便性	2.0	3.9	1.6
子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ	3.3	4.1	3.3
保育所などへの送迎のしやすさ	0.2	0.6	0.2
公園、児童遊戯施設など子供の遊び場の充実度	3.5	5.7	4.0
健康・医療サービスなどの充実度や利用のしやすさ	5.4	7.5	7.3
介護サービスなどの充実度や利用のしやすさ	1.2	4.7	5.9
病院・診療所・介護施設への行きやすさ	7.6	11.2	7.5
生活・消費活動の利便性	2.0	6.9	9.9
市内での小売店舗や飲食店等への行きやすさ	2.0	7.3	9.6
娯楽・文化サービスの魅力度や利用のしやすさ	2.1	3.5	7.0
余暇を楽しむ場所や機会の充実度	0.7	4.9	15.3
旅行・娯楽・文化施設への行きやすさ	0.5	1.4	15.3

### 【アンケート設問】

Q19-1 Q19の①～⑳の中であなたが最も重要と考えるものを上位3つまで選んで、回答欄に番号を記入した上で、どのような生活環境があれば良いか、具体的に記述してください。

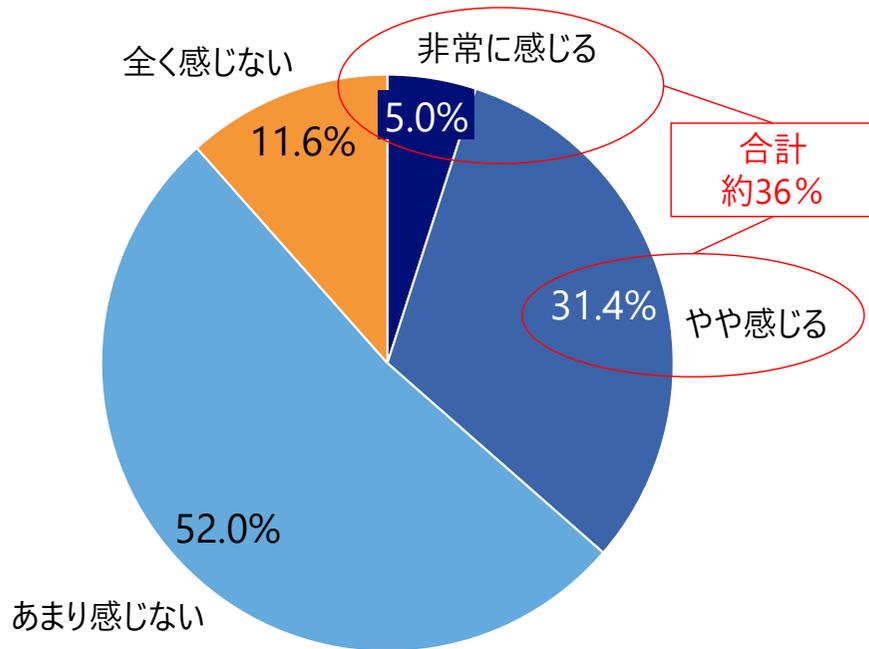
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

鶴岡市に将来性を感じている人は、全体の約36%（昨年度から4%低下）です。

鶴岡市に将来性を感じますか

(N=818)



区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
総数		5.0	31.4	52.0	11.6
性別	男性	7.0	32.4	46.4	14.2
	女性	3.4	30.8	56.7	9.1
年代別	15歳以上20歳未満	11.8	38.2	29.4	20.6
	20歳以上30歳未満	3.4	41.4	44.8	10.3
	30歳以上40歳未満	1.2	30.5	48.8	19.5
	40歳以上50歳未満	7.1	30.4	43.8	18.8
	50歳以上60歳未満	4.6	26.3	60.5	8.6
	60歳以上70歳未満	3.6	28.2	61.4	6.8
	70歳以上	6.5	38.4	45.4	9.7

### 【アンケート設問】

Q20 あなたは、鶴岡市に将来性を感じますか。（✓はひとつ）

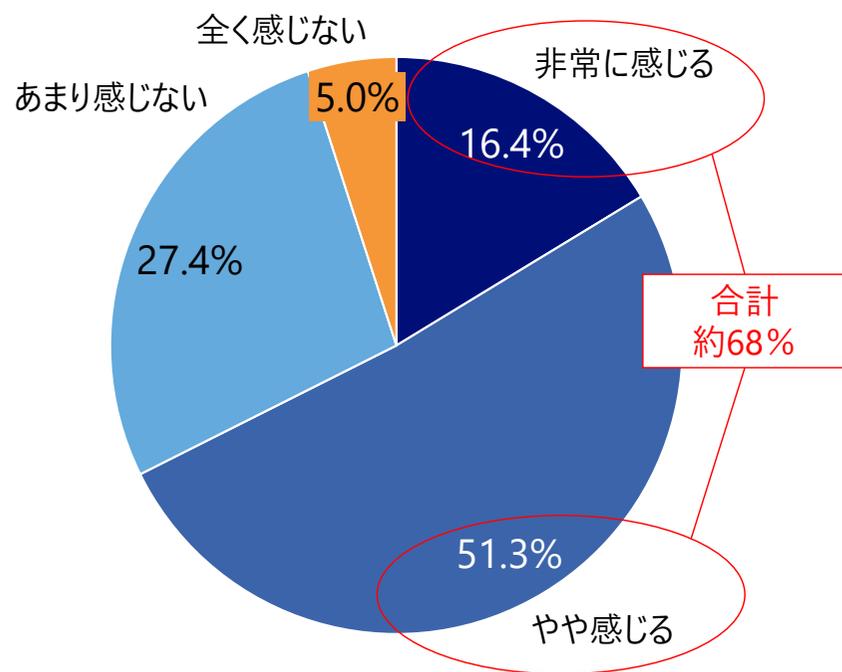
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

約7割（昨年度と同水準）の人が鶴岡市への愛着や誇りを感じています。

鶴岡市への愛着・誇り

(N=819)



区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
総数		16.4	51.3	27.4	5.0
性別	男性	17.6	49.6	27.2	5.6
	女性	15.5	53.0	27.2	4.3
年代別	15歳以上20歳未満	26.5	32.4	32.4	8.8
	20歳以上30歳未満	27.6	34.5	24.1	13.8
	30歳以上40歳未満	7.3	50.0	34.1	8.5
	40歳以上50歳未満	17.9	50.0	25.9	6.3
	50歳以上60歳未満	17.8	48.7	28.3	5.3
	60歳以上70歳未満	11.8	57.9	28.5	1.8
	70歳以上	20.5	53.5	22.2	3.8

### 【アンケート設問】

Q21 あなたは、鶴岡市に対して誇り・愛着を感じますか。（✓はひとつ）

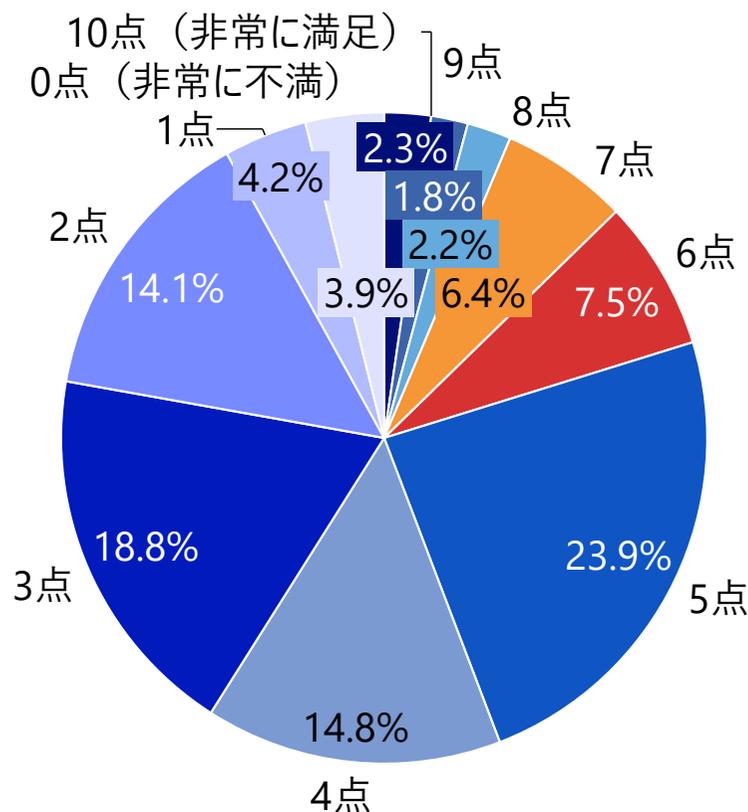
数値（％）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない。

## II. 生活の満足度・幸福度について

幸福度を10点満点で自己採点した結果、全体の平均点は5.9で、年代による大きさ差はありません。（昨年度と比較して、10代、20代の平均点が顕著低下）

あなたが感じている幸福度

(N=815)



		R5年度	R4年度
		平均点	平均点
総数		5.9	6.1
性別	男性	5.7	6.0
	女性	6.0	6.1
年代別	15歳以上20歳未満	6.0	7.4
	20歳以上30歳未満	5.7	6.5
	30歳以上40歳未満	5.5	5.4
	40歳以上50歳未満	5.8	5.9
	50歳以上60歳未満	5.9	5.7
	60歳以上70歳未満	5.9	6.3
	70歳以上	6.0	6.2

### 【アンケート設問】

Q22 あなたはどの程度幸福だと感じていますか。「非常に幸福」を10点、「非常に不幸」を0点として、あなたは何点ぐらいになるか、あてはまる点数の上に○を記入してください。10点、0点の場合は「非常に幸福」もしくは「非常に不幸」を○で囲ってください。（○はひとつ）

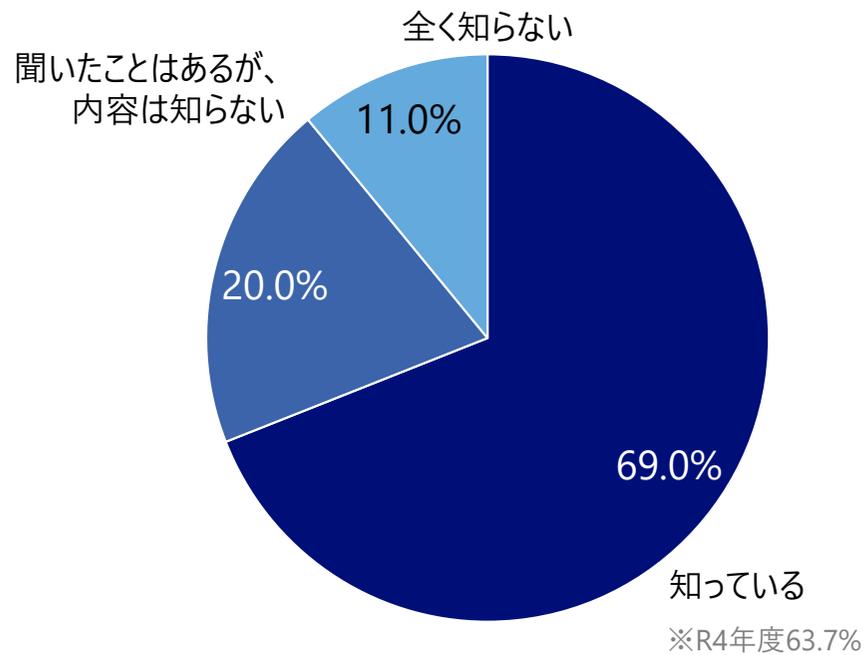
数値（%）は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない。

### III. SDGsについて

SDGsを「知っている」と回答した人は、全体の69%で、昨年度より5%程度増加しています。

SDGsの認識度

(N=817)



区分		知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	全く知らない
総数		69.0	20.0	11.0
性別	男性	69.3	19.7	10.9
	女性	68.9	20.4	10.8
年代別	15歳以上20歳未満	88.2	2.9	8.8
	20歳以上30歳未満	86.2	10.3	3.4
	30歳以上40歳未満	85.4	12.2	2.4
	40歳以上50歳未満	73.0	20.7	6.3
	50歳以上60歳未満	75.7	19.7	4.6
	60歳以上70歳未満	69.5	22.7	7.7
	70歳以上	47.3	24.7	28.0

【アンケート設問】

Q23 あなたはSDGsを知っていますか。(✓はひとつ)

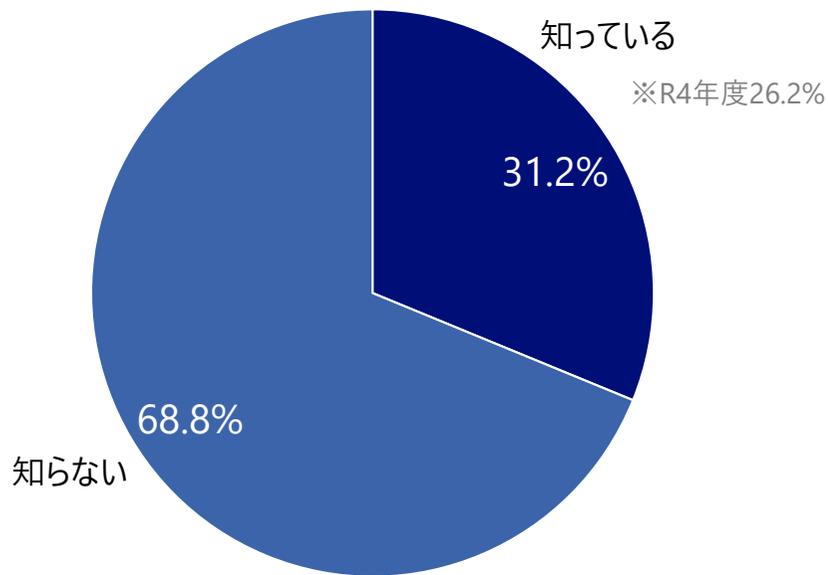
数値 (%) は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない。

### III. SDGsについて

鶴岡市がSDGs未来都市に認定されていることを「知っている」人は全体の3割程度で、昨年度より5%程度上昇しています。

鶴岡市がSDGs未来都市に認定されていることの認識度

(N=815)



区分		知っている	知らない
総数		31.2	68.8
性別	男性	32.9	67.1
	女性	29.5	70.5
年代別	15歳以上20歳未満	41.2	58.8
	20歳以上30歳未満	31.0	69.0
	30歳以上40歳未満	34.1	65.9
	40歳以上50歳未満	36.9	63.1
	50歳以上60歳未満	30.9	69.1
	60歳以上70歳未満	31.4	68.6
	70歳以上	24.5	75.5

#### 【アンケート設問】

Q24 あなたは鶴岡市がSDGs未来都市に認定されていることを知っていますか。(✓はひとつ)

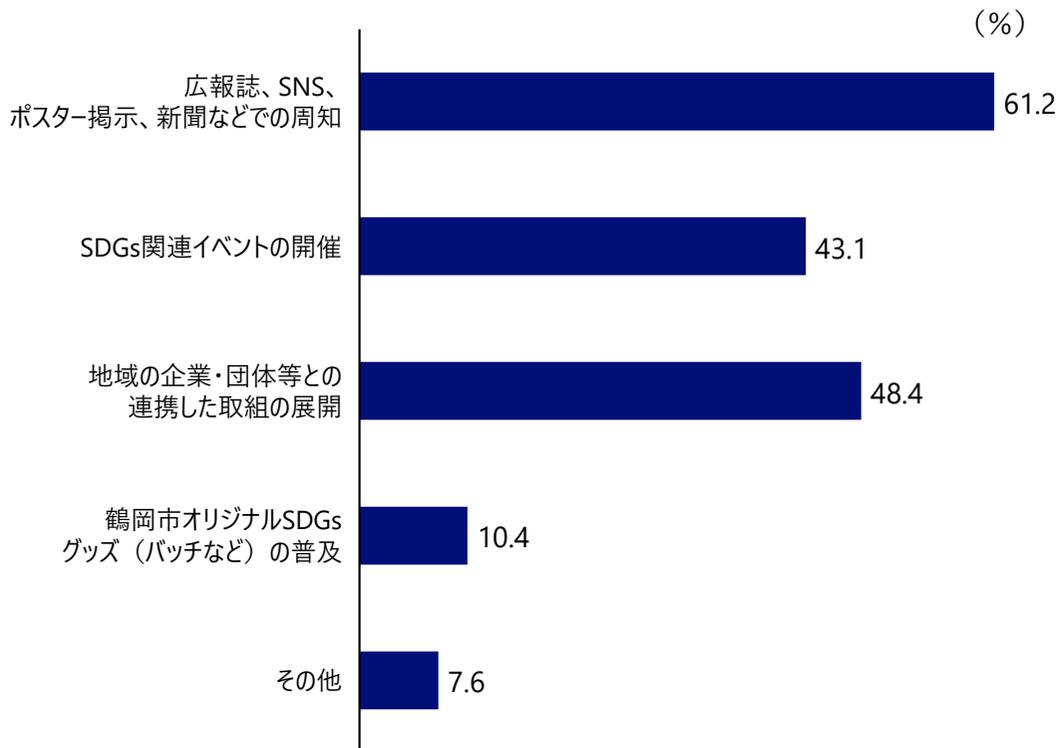
数値(%)は、サンプル数に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない。

### III. SDGsについて

市の取組みへの要望は、「広報誌、SNS、ポスター掲示、新聞などでの周知」（61.2%）が最も多く、次に「地域の企業・団体等との連携した取組の展開」（48.4%）となっています。

SDGsをしっかりと理解していただくために、市はどのような取組みを行うと良いと思いますか

(N=787)



区分		広報誌、SNS、ポスター掲示、新聞などでの周知	SDGs関連イベントの開催	地域の企業・団体等との連携した取組の展開	鶴岡市オリジナルSDGsグッズ（バッチなど）の普及	その他
総数		35.9	25.2	28.3	6.1	4.5
性別	男性	57.8	43.8	48.5	11.5	8.8
	女性	64.4	42.5	48.2	9.5	6.4
年代別	15歳以上20歳未満	47.1	35.3	55.9	20.6	5.9
	20歳以上30歳未満	58.6	65.5	41.4	6.9	0.0
	30歳以上40歳未満	53.1	51.9	54.3	9.9	13.6
	40歳以上50歳未満	55.5	45.5	60.9	8.2	5.5
	50歳以上60歳未満	54.3	45.7	50.3	11.3	7.3
	60歳以上70歳未満	64.6	48.3	45.9	9.6	6.7
	70歳以上	74.9	26.9	38.6	11.1	8.8

#### 【アンケート設問】

Q25 市民の皆さんにSDGsをしっかりと理解していただくために、市はどのような取組みを行うと良いと思いますか。（✓はいくつでも）

複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。